3923

特 23

472

陸軍
軍樂長
永井岩井撰曲

一等軍樂手
小畠賢八朗
調曲

COLLECTION OF JAPANESE POPULAR MUSIC.

西洋樂譜

日本俗曲集

歐米樂器販賣所
三木書店發兌

OSAKA:
S. MIKI & Co., PUBLISHERS.

074409－000－2

特23－472

日本俗曲集（西洋樂譜）

永井　岩井／撰曲

M24

CEI－1661

特23
472

Modern
Japanese Fashionable Songs
with Accompanying Tunes.
版權所有

日本俗曲集

西洋樂譜

同一等軍樂手　小畠賢八郎調曲

陸軍軍樂隊長　永井岩井撰曲

附錄　西洋樂譜獨案内

附錄　樂器使用法

優音館藏版

樂譜ノ順
序ハ裏面
ヨリ起ル

はしがき

よろこばしきまゝ字ふ
そろこばしく果れ
んよかふ〳〵おもふ
きれバ音樂唱歌の
大ふりといふ〳〵
肆ハおごそかの俗曲
よよ公よせんと〳〵
こふまくらひらきん
通の法よて礼
ま俗のとい異

自叙

音樂ノ風教上ニ必要ナルハ世ノ古今洋ノ東西ヲ問ハズ先哲諸家ノ嘖々論ゼシ所ニシテ今更喋々スルヲ要セズ我國ニ於テモ教育家ノ音樂ニ注意スルコト益盛ニシテ凡ソ道德ノ大本ヲ教訓シ忠君愛國ノ心ヲ振作スルニモ友愛ノ情ヲ勃興セシムルニモ勇氣活潑ノ精心ヲ皷舞スルニモ其他衞生上呼吸機發聲機ヲ發達セシムルニモ殆ント其力ニ依ラサルハナシ嗚呼音樂ノ効亦大ナリト謂フベシ 不肖 職ヲ樂師ニ奉ジ常ニ思ヘラク苟クモ音樂ヲ社會ニ普及擴張セント欲セバ須ラク社會一般ニ廣ク西洋ノ樂譜ニ依リ奏樂シ得セシメンコトコレ第一ノ急務トス然レモ此事タルヤ容易ニ行フベクモアラ

昭和二十四年十月

此書
差せば曲の
されバ世の風俗を
我和ぐることを
の用意もまゝ
到まりといはまゝ

ズ故ニ先ツ有志ノ輩ヲシテ簡易捷徑ノ法ニ依リ自然ニ獨習セシムルノ良法ヲ一般ニ擴張セザルベカラズ夙ニ先輩諸子モ獨習者ノ便ヲ謀リ或ハ樂譜ノ理論ヲ講ジ或ハ西洋ノ歌曲集等ヲ數多刊行セルモノアリト雖モ皆其說明スル所高尙ニ過キ或ハ例ヲ西洋ノ曲ニ取リタレバ未ダ西洋曲ノ趣味ヲ知ラサル輩ニハ其不便勘カラス是ニ於テ余公務ノ餘暇西洋ノ樂譜ノ理論ノ一般ヨリ樂器ノ使用法ニ至ル迄極メテ平易簡明ニ說述シ其曲例ハ本邦古今俗曲中ニ就キ佳良ニシテ尤モ面白キ邦人ノ聞慣レタル曲ヲ撰ミタレバ獨習者ハ自ラ西洋樂譜ノ本邦音律ニ符合セルヲ悟リツヽ容易ニ其道ヲ會得スルノミナラズ亦以テ日本樂器ヲ玩奏シ俗曲ヲ學ブ者ニモ師友ヲ要セズ學脩シ得ベキ也本邦在來ノ歌曲ハ歌ノ文句ノミ記スルニ止リ完全ナル曲譜ニ記セルモノ幾ンド希レナリ是亦俗曲ヲ學脩スルノ不便ナル所以ナリ本書一タビ世ニ出デヽ本邦俗曲學脩上ニ向ツテ一大變革ヲ與ヘ且我國固有ノ優美高尙ナル曲譜ナシテ海外千萬里ノ外ニ傳播セシメ以テ外人ノ聽衆ヲ感喜セシムルヲ得バ撰曲者ノ望是ニ於テ足レリト謂フベシ

明治辛卯盡月

陸軍々樂長　永井岩井識

西洋樂譜獨案内

○音名

音樂を書き著わすに音符と名づくる符号を以て書載そるものなり音符に七種の音名を附して「イロハニホヘト」或れ「ヒフミヨイムナ」或れ「1 2 3 4 5 6 7」と云ひ西洋わては之をを「A B C D E F G」或は「ドレミファソラシ」と云ふ然して音樂に依り此七種より過多の樂音を要するときは尚同名を稱へて上へ攀ぢ或い下へ攀ぢ合せて用ゐるなり

1	2	3	4	5	6	7	1 2 3 4 5 6 7
ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド レ ミ ファ ソ ラ シ
イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト

中音譜線　許音譜

1	2	3	4	5	6	7	1 2 3 4 5 6 7
ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド レ ミ ファ ソ ラ シ
イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト

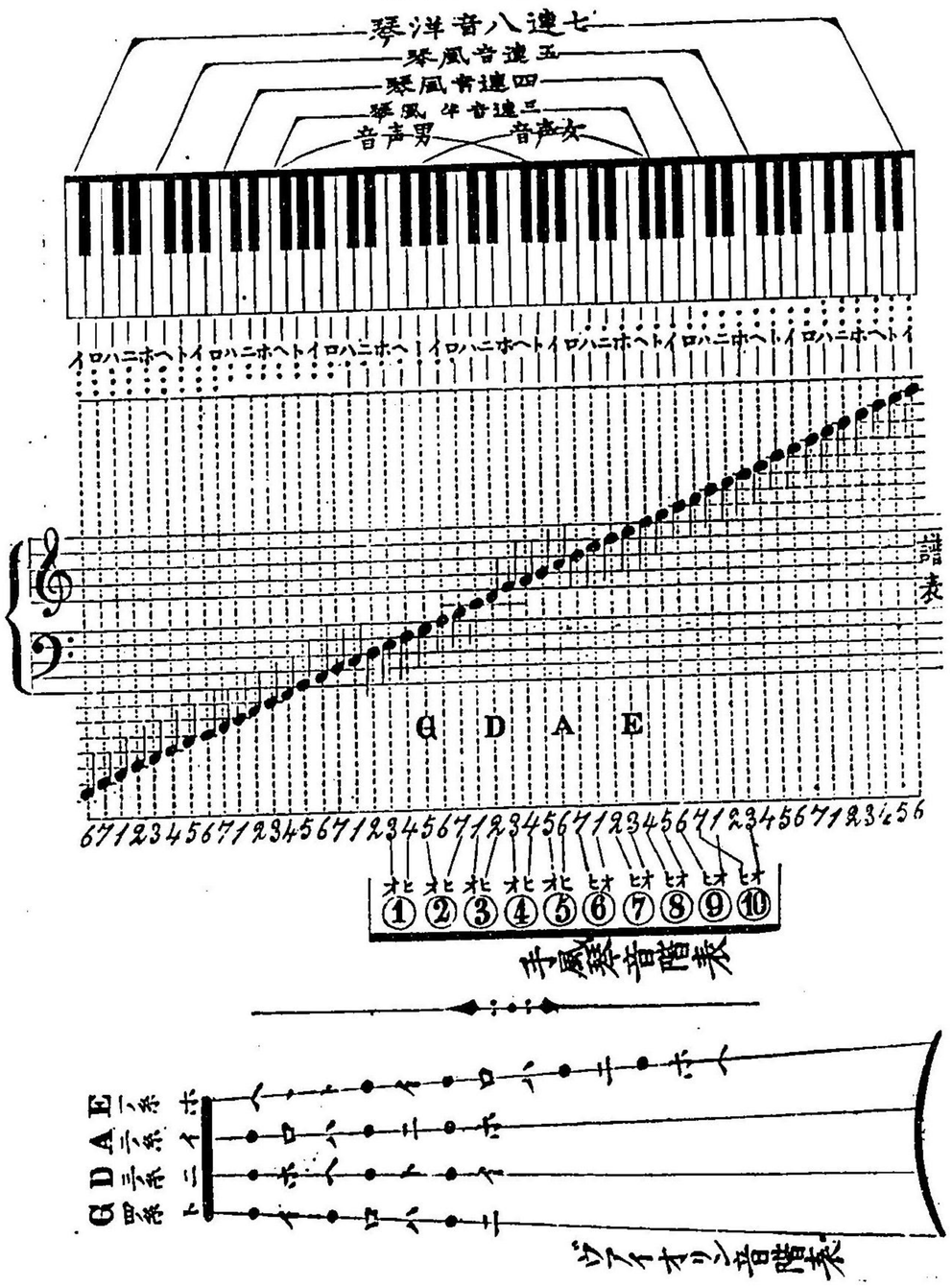
許音譜　許音譜

○譜表

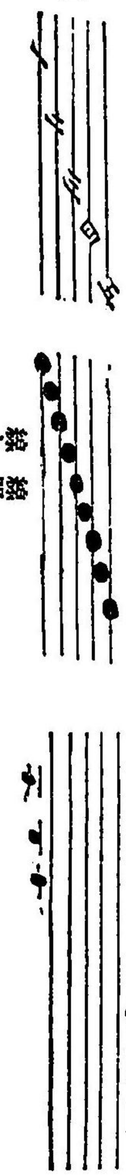
音符を書載そるふゐ譜表と名つくる五線の集合したるものに書載そるあり此五線と下より順次に一二と數ふる者にて音等ゐ線上及ひ線間ふ書載す而して此譜表上のそにては足ふさるべし此ときには尚上下に補線を附加して音符を書載する事を得

洋琴風琴手風琴及ヴアイオリンリ

音律對照表



例



○音部記號及音階（音律の事）

音部記號とは譜表の初めに置く記號にして此記號に依りて音符の高低及ひ音部の位置を知るものあり而して此記號に三種あり　一を高音部記號と云ふ　高音部記號は譜表の第二線の上に置きと字記號と云ふ　中間音部記號は譜表の第一線れ上ふ置き○は字記號と云ふ　低音部記號と譜表第四線の上に置きへ字記號と云ふ　尚此他高音部記號一種中間音部記號三種低音部記號一種有るども皆高等音樂の學理にして普通に用ゐらるゝ事稀なるを以て茲ょ說のす

例

高音部記號（ど字記號）

中間音部記號（は字記號）

低音部記號（へ字記號）

注意

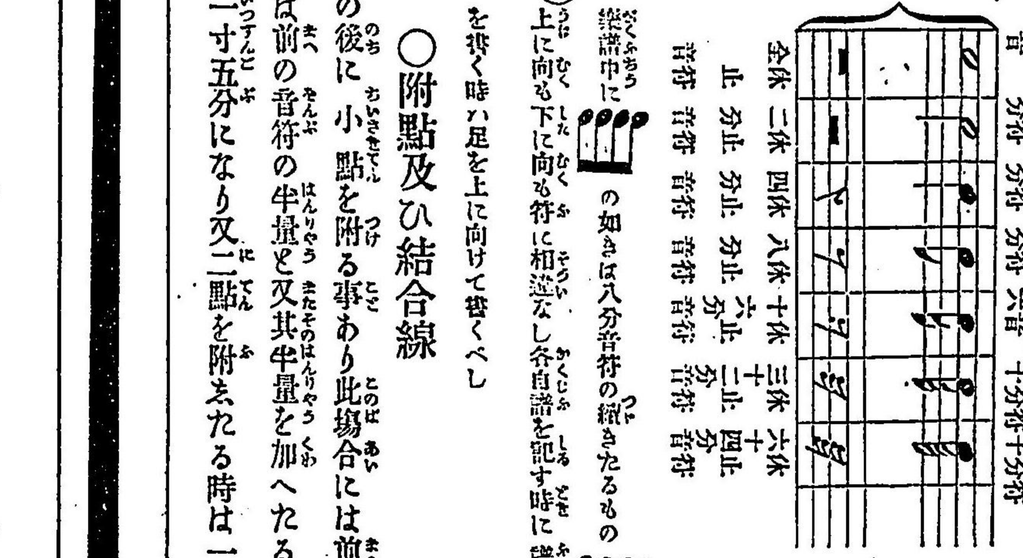
各記號に對し一點を附したるが中央の部と心得べし
現今　尤も實用せらるゝものは高音部記號及ひ低音部記號なり
尚音律對照表にて推考せらるべし

○音符及ひ休止符

各音の奏法に依りて時の長短經時を示す爲めに七種の音符を以てす　第一全音符（𝅝）第二二分音符（𝅗𝅥）第三四分音符（♩）第四八分音符（♪）第五十六分音符（𝅘𝅥𝅯）第六三十二分音符（𝅘𝅥𝅰）第七六十四分音符（𝅘𝅥𝅱）とす而して全音符を最長の符として以下次第に二分したるものと知るべし依て時計れ十秒時間内に全音符十個を奏するもれとせば二分音符なれバ廿ケ、四分音あれば四十個、八分音符なをば八十個を奏する速度ふ量るべし

以上の音符と同量の休止符あり　即全音休止符（𝄻）二分音休止符（𝄼）四分音休止符（𝄽）八分音休止符（𝄾）十六分音休止符（𝄿）三十二分音休止符（𝅀）六十四分音休止符（𝅁）是あり而して是等の働きは音樂中一小時間れ斷絶を示すもれと心得ふべし今左に各音符と對照の圖を示さん

例



全音符 二分符 四音符 八分符 十分符三二音六四音 十分符十分符

止符 分止 分止 分止 六止 分

樂譜中に の如きは八分音符の續きたるもの の如きい十六分音符の續きたるものなり又 の足を上に向ふ下に向ふ符に相違なし各自譜を記す時に譜表第三線より上に書くときは足を下に向け三線より下に符を書く時は足を上に向けて書くべし

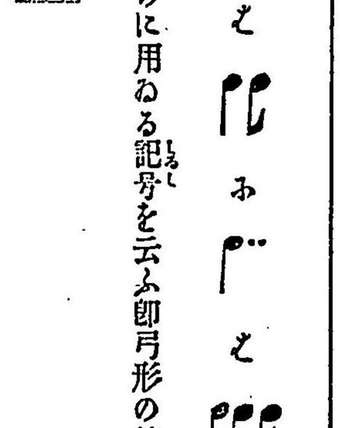
○附點及び結合線

一音符の後に小點を附る事あり此場合には前の音符の半量を增あり 又小點二つを附した る時には前の音符の半量と又其半量を加へたるものなり假令ば一寸分を持ちたるものに一點を附して一寸五分になり又二點を附たる時は一寸七分五厘のものとなるあり

例

結合線とは二個以上の音を結合せる爲めに用ゐる記号を云ふ卽弓形の線を附そあり

例



○三符連及び六符連

同量の音符二個を奏する時間と同じ間に同量の音符三個を奏そることあり是と三符連と云ひ又同量の音符四個を奏する時間と同し間ゐ同量の音符六個を奏そることあり是と六符連といふ此三符連及六符連を示すには三符連の上に3の字と置き六符連の上にと6の字を置て區別するものなり

例

○小節

小節とは音樂上一樂曲を區別して平等ゐ割當てたる小部分を云ふ而して是を現とするに縱線を以て譜表の五線と切斷して顯すべし

（注意）此區分したる小節の中には音符或は休止符等を以て同量の符點を揭載する事と心得べし

○拍子

拍子とは樂曲の初めに置くものにして各小節中の分量を示す記號なり卽4/4とある時下ノ4ハ四分音符と云ふ意にて上の4は數あり依て四分音符四個より組織したる事を顯とな2/4 3/8等皆是れゐ準ず而して拍子を二拍子三拍子四拍子の三種に區別す

（注意）Cは4/4の𝍪は2/4の普通に知れる同記號にしてCはC記號のものを2/4拍子にて奏樂せしむるときに用ひるものなり

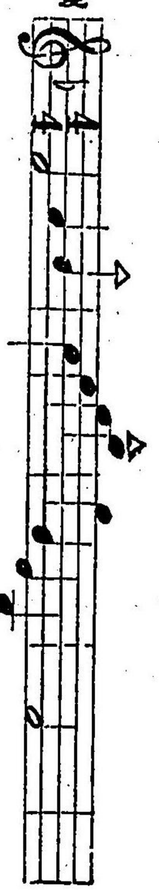
尙此他數多の拍子有れども高等音樂に屬するを以て茲ゐ載せず

例

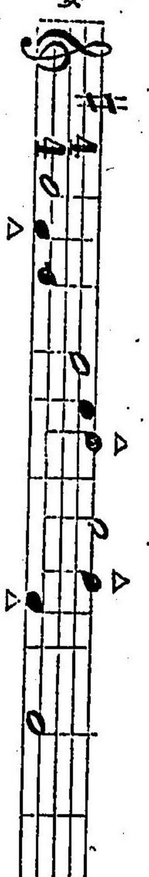
○變換記號（嬰　變　本位　記號）

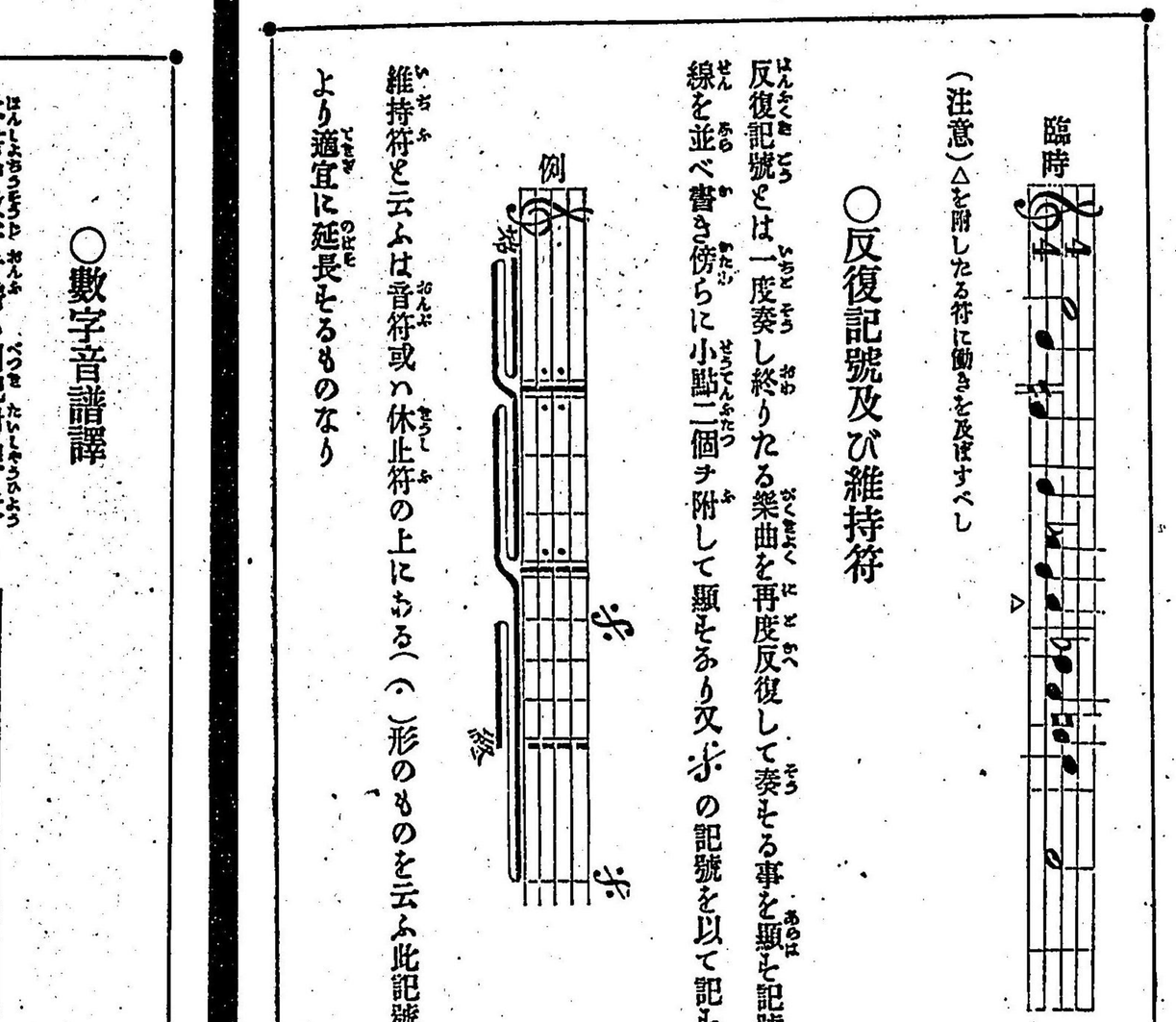
變換記號とは此記號の後に有る符の音を上昇或は下降せしむる記號あり嬰（♯）は半音を上げ變（♭）ハ半音を下げ本位記號（♮）は嬰變にて變換されたるものを本位に復ゼる記號なり又復嬰（𝄪）は二半音（但一音の事也）を上げ復變（𝄫）は二半音を下げる記號なり而して嬰變の記號が音部記號の次に有るときは其同名の音符は其樂曲の終る迄悉く働きを及ぼし又樂曲中にて嬰變の記號に會遇したる時は其一小節中れ同名の符に働しむるものとそ之を臨時變換記號とそ

例



嬰





（注意）△を附したる符に働きを及ぼすべし

○反復記號及び維持符

反復記號とは一度奏し終りたる樂曲を再度反復して奏する事を顯す記號なり太き縱線と細き縱線を並べ書き傍らに小點二個ヲ附して顯すあり又𝄋の記號を以て記すことあり

維持符と云ふは音符或ハ休止符の上にある（・）形のものを云ふ此記號の有る符は通常の分量より適宜に延長するものなり

○數字音譜譯

本書中數字音譜ハ別記對照表ヨ依り數字ヲ以テ記載ヲ假令バ1ト有ルヒ中音ノハヨ當リ・1ト有ルハ高音ノハニ當リ7・ト有ルハ低音ノロト心得らるべし速度は2+ヲ全音2一ヲ二分音2ヲ四分音2一ヲ八分音2二ヲ十六分音2二ヲ三十二分音2三ヲ六十四分ト心得又休止符ハ0ヲ以テ同一ノ符合ヨテ記載セたる者ト心得奏せらるべし

今下に其對照ヲ記ヨ

名比 / 符名	本符	數字符量	休止符量
全音符	𝅝	2+	0+
二分音符	𝅗𝅥	2—	0—
四分音符	♩	2	0
八分音符	♪	2̣	0̣
十六分音符	𝅘𝅥𝅯	2̣̣	0̣̣
卅二分音符	𝅘𝅥𝅰	2̣̣̣	0̣̣̣
六十四分音符	𝅘𝅥𝅱	2̣̣̣̣	0̣̣̣̣

○運動拍子を示す法

音樂符号法中に挿入せる所の符語と元と之れ以太利語より假來りたる者にして符号法に於て萬國普通に同一の語と同一の符号を用ゐらるゝは眞に音樂の徳と言ふ可し則ち其各語 幷ゟ意譯は

Largo ラルゴ(大さく)　*Lanto* ラントは(徐々に)　*Adagio* アダヂヨ(沈着にして)

Andant) アンダント(中位の運動なれども感動を含みて)　*Allegro* アレグロ(曲れ性質哀楽の如何に拘らず適度に奏せよイソ〳〵と云ふ義を示す)　*Larghetto* ラルゲット(ラルゴに至らざる者)　*Allegretto.* アレグレット(アレグロ至らざる者)　*Andantino* アンダンチノ(アンダンテラト(中庸に奏する事)

Moderato. モデラト(中庸に奏する事)

茲に尚は伊太利語を假り來りて强弱加減を記すゟ用ふるは一般れとにして最も實用せらるゝ語を載す

pp ピヤニシモ　(極めて弱を示そ)

p ピヤノ　(弱を示す)

mf メアフチルテ　(半强)

f フチルテ　(强く)

cres ＜ クレサンド　(漸く增强そて)

cal カランド　(宥めて)

ff フチルチシモ　(極めて强く)

decres ＞ デークレサンド　(漸く減强そて)

fp. フチルテピヤノ　(强より弱に移る)

pf ピヤノフチルテ　(弱より强に移る)

音樂理論初步終

西洋樂器使用法要略

○手風琴之部　*INSTRUCTION FOR ACCORDIN.*

普通の手風琴は空氣袋開閉に依り一鍵より二音を發する樂器にして仮令ば上より第三番目の鍵を押せば(1)の音を發し開けバ(2)の音を發するあり故に十個の鍵より二十の異音を發す其律と卷首に有る音律對照表に依て知るべし此外二個の大鍵あり之れと原語にて(ベース)と云ひ凡ての樂曲に調和し得る低音なり故に右の十個の鍵を自由自在よ使用して種々の樂曲を奏し得るゟ至れば適宜に調和して恰も軍樂隊の合奏を聞く如き面白き活潑にして愉快ゟる音を發せしむる事を得べし尚又左手の前に無聲の鍵あり之と空氣を適宜ゟ出入せしむる爲ゟ設けたるものよして奏樂中充分袋を開きて空氣の欠乏そる時此穴より空氣と入れて補助するものとす之れ等と實地手風琴を使用すれば自然に必用を感するなり又手風琴を演奏するよと歐洲人の如く椅子よ掛けて膝の上ゟ置き十個の鍵有る方を右手に持ち二個鍵ある方を左手ゟ持ち空氣袋半分程開きて各自隨意の樂曲を奏そべし奏曲中强音を望むときと左手ゟて持ちたるを强く押し引すれば袋の使用自由にて樂器の爲めよも破損の憂なかるべし

○ヴァイオリン之部　*INSTRUCTION FOR VIOLIN.*

ヴァイオリンと云ふ樂器と西洋にて樂器中の帝王と稱する位の完全なる樂器ゟして音色優美構造簡短携帯ゝ便利實に不足おき樂器ゟり此樂器を使用するに極手近き方法を左に示すべし一の調子笛ゟり是に就て一筋の糸の調子を合せ其調子より卷首の音律對照表ゟ依り他の糸の調子を合せ四線全く調子合ひたる時と弓を以て擦り鳴すべし初學者と此時音が出難き故に飽倦して中正するに依り困難と思ふべきか決して然らずと信ず弓を扱ふゟい奏樂するに當り必ず其都度よ脂と擦り着けるべし脂は火にあぶるに非ず粉ゟそるゟ非ず樂器屋よて買ひさる儘弓れ手許より末まで十分よ擦り着けるべし此時弓の毛の切れざる樣注意すべし若し一筋よても切たるときは根本より鋏みよて切り取るべし

ヴァイオリンの持ち方と左手にて掉首を支へ腮と左鎖骨にて胴を狹み身体ゝ直立ゑて目前ゟ譜面臺を見る樣ゟそべし弓ゝ右手四本の指と拇指にて持なよ而して隨意の樂譜を奏すべし音色ゝ手慣れるよ順ひ美音となるべければ必ず倦怠なく練習さるゝを宜敷と初學者へ謹告す音律對照表に示したるヴァイオリンの律ゝ唯普通のものを記したるものなりゟの糸のそよりと迄D。の糸のそよりに迄A。の糸のみよていよりゝ迄E。の糸ゝ記載の通り皆是を丈の多く

の音を發すべし依つて高尚なる復音よても自由に奏樂し得るもれなり又對照表れ糸に黒丸を附しさるゝ風琴弁琴れ鍵盤に於ける黒鍵の位置と心得ふべし

○風琴之部 *INSTRUCTION FOR ORGAN.*

風琴ハ音律完全にゑて使用し安く殊ゑ唱歌の教授するには風琴を一等とす音樂を學ぶ者は此風琴よ依りて習得せば速達し且覺安く亦記憶ゑ安さと信ず此樂器にて稽古ゑたる後ち他の何樂器ゑ移るも大同小異ゑて理解そるに大に便利なり而して此樂器にて奏樂するには先づ姿勢を正しくして椅子に依り足を踏板に乘せ手を鍵盤に上げ足ハ速うらぜ両方互ゑ踏むべし手と常よ水平に保ち上下に傾かざる樣に注意すべし初學者は手れ運動と足の運動と同じ拍子にせらる有り慣れるゑ願ひて止るべけれども注意して避けべし大形の風琴よは皆「ストップ」と云ふ引出ゑあり是れを引出さゝをば鳴ず然れども赤字黒字の両方有るときには先黒字のみを引出ゑて鳴せば失錯なしストップ名の説明は之れに略す使用濟の上は何れの樂器にもせよ叮嚀に仕舞置くべし別して風琴には注意そべきよとあり（注意）何れの樂器にても奏樂者ハ必ず爪を取るべし

倘此外高尚ナル器ハ種々アレドモ初學者ニ余リ用ヒザレバ本書中ニ説明セズ

終

FASIONABLE EDITION.

A COLLECTION Of JAPANESE POPULAR MUSICS.

By

Y. NAGAI,
THE MILITARY BAND-MASTER, OSAKA-CASTLE JAPAN,
AND
K. KOBATAKE.
FIRST CLASS MUSICIAN OF THE MILITARY BAND.

OSAKA:
S. MIKI & Co.,
No. 106 & 107, SHINSAIBASHI ROAD, E. C.
1892.

COPYRIGHT
BY
S. MIKI & CO.,
OSAKA, JAPAN.

Preface.

The work of Japanese Popular Music to a class of both foreigners and Japanese amateurs, is doubtless a new type to many into whose hands this book may fall.

All the music in the book has been very attentively edited by Mr. T. Nagai, the Military-band master, of Osaka castle, and arranged by Mr. K. Kobatake, the first class saxaphone player of the same, the most of which of course be found many, that have never heretofore appeared in any other works. The experience of those who have undertaken them, proves that they are entirely valuable and infallible collection, ever since some of the kinds have been offered to the Musical World.

They are not only because they were from the Militaly band, but thorough and painstaking services,

involving a great deal of work, have duly acknowledged as for the goodness sake, so that neither was copied out from their cards nor borrowed from any manuscript, for it is reason why our proudness simply depends on this first born "cherub", i. e. "Collection of Japanese Popular Musics".

As for those who desire to know what is to be played in Japanese "Egyptian hall," or, by "Menageric," this book will no doubt suit to them, to whom our desire is this that, if great economy would render and the requirement might meet, the extent of which distribution should more or less have given them the benefit.

We hope to express our most ardent and cordial thanks to Mr. W. C. Sakai, of this city, who has completely assisted us during the course of preparation of this work, especially for aids of English readers.

The publishers.

Osaka: Jan 1st. 1892.

TABLE OF CONTENTS.

目錄見出表

	PAGE		頁
GONBEGA-TANEMAKU... ...	2.	でんべがたねまく… … … …	弐
TOKA-EBISU	4.	とうかゑびす … … … …	四
OEDO-NIHONBASHI...	6.	おゑどにほんばし… … … …	六
RIUKIU-BUSHI...	8.	りうきうぶし … … … …	八
SUIRIYO-BUSHI...	10.	すいりやうぶし … … … …	一〇
KAPPORE. No. 1	12.	かつぽれ … … … … …	一二
〃 No. 2	13.	仝 … … … … … …	一三
〃 HONEN. No. 3... ...	16.	仝 ほうねん … … …	一六
〃 〃 No. 4...	17.	仝 仝 … … … …	一七
ECHIGO-JISHI. No. 1... ...	20.	ゑちごじゝ … … … … …	二〇
〃 〃 No. 2	21.	仝 … … … … …	二一
NA NO HA. No. 1... ...	24.	なのは… … … … … …	二四
〃 〃 〃 No. 2	25.	仝 … … … … … …	二五
HORETE-KAYOUNI. No. 1	28.	ほれてかように… … … …	二八
〃 〃 No. 2...	29.	仝 … … … …	二九
SAKURA-MIYOTOTE	32.	さくらみよとて… … … …	三二
FUKU-JU-SO...	35.	ふくじゆそう… … … … …	三五
KAYO-KAMI	38.	かようかみ… … … … …	三八
YUBE-YONDA	41.	ゆうべよんだはなよめ… … …	四一
DOTEO-TORUWA...	43.	どてをとはるわ… … … …	四三
WAGAKOIWA	46.	わがこいわ … … … … …	四六
MURASAKI	48.	むらさき … … … … …	四八
KOSUNOTO. No. 1	51.	こずのと… … … … … …	五一
〃 No. 2	52.	仝 … … … … …	五二
KURO-KAMI. No. 1...	55.	くろかみ… … … … … …	五五
〃 No. 2	56.	仝 … … … … …	五六
OTSUE-BUSHI, No. 1	59.	おはつゑぶし… … … … …	五九
〃 〃 No. 2 ...	60.	仝 … … … …	六〇
IYO-BUSHI. No. 1	63.	いよぶし… … … … … …	六三
〃 〃 No. 2	64.	仝 … … … … …	六四
GOSHO NO ONIWA. No. 1...	67.	ごしよのおにわ … … … …	六七
〃 〃 〃 No. 2	68.	仝 … … … …	六八
INSHU-INABA.	71.	いんしゆいなば … … … …	七一
DODOITSU.	74.	どゝいつ … … … … …	七四
ASAKU-TOMO.	76.	わさくとも … … … … …	七六
SEDO NO DANBATAKE. No. 1	79.	せどのだんばたけ … … …	七九
〃 〃 〃 No. 2	80.	仝 … … … …	八〇

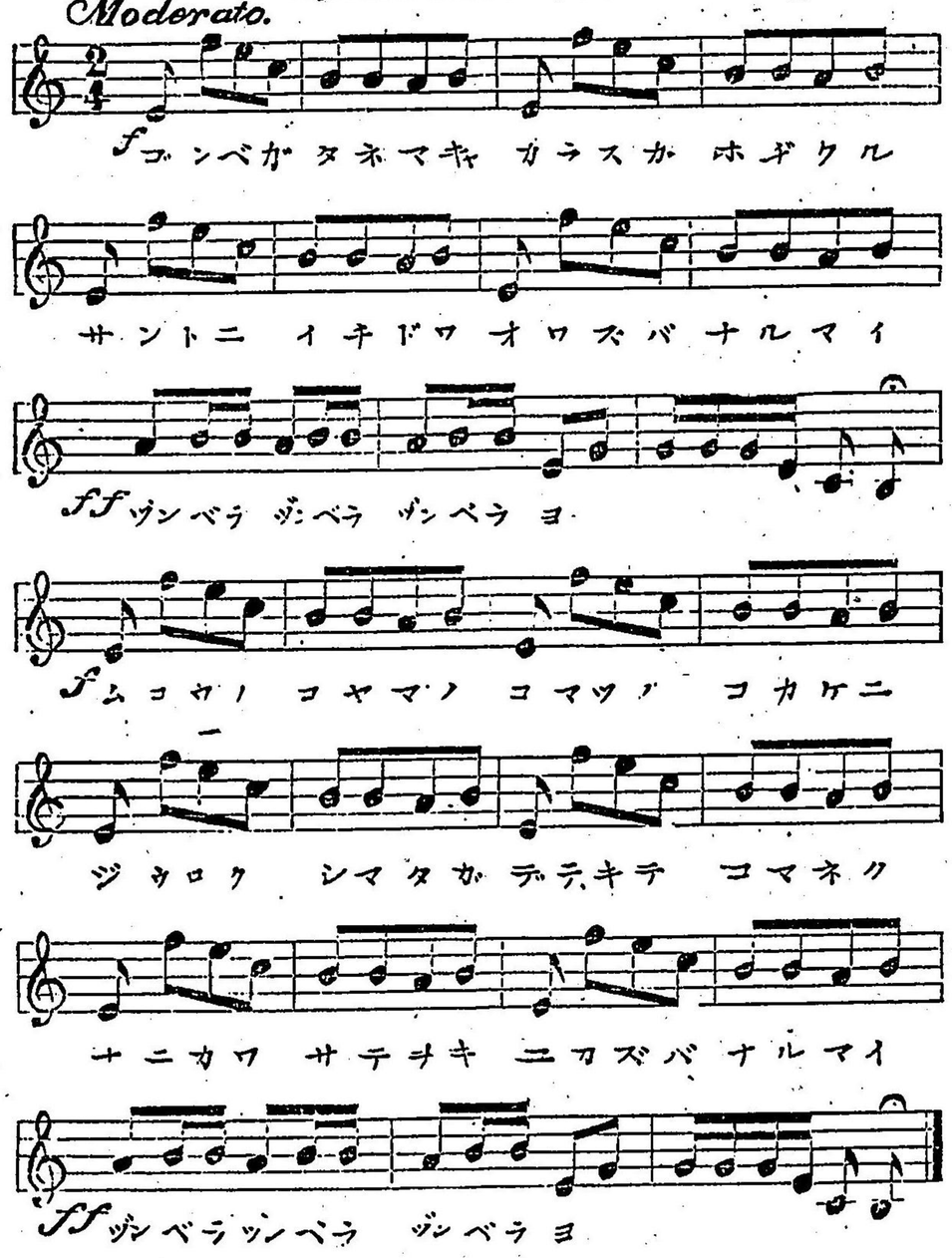
〔西洋樂譜案內(附錄)〕 ❀ 〔樂器使用法(附錄)〕

權兵衛蒔種.

（ごんべゑだね蒔まく）

GONBEGATANEMAKU.

Moderato.



二

權兵衛種蒔・數字音譜

$\frac{2}{4}$ { 34 31 | 77 67 | 34 31 | 77 67 | 34 31 | 77 67 | 34 31 | 77 67 | 34 31 |

ゴンベガ タネマキヤ カラスガ ホゼクル サンドニ イチドハ チワズバ

| 77 67 | 677 677 | 677 35 | 5553 17 ‖

ナルマイズンベラズンベラズンベラ

$\frac{2}{4}$ { 34 31 | 77 67 | 34 31 | 77 67 | 34 31 | 77 67 | 34 31 | 77 67 | 34 31 |

ムコーノ コヤマノ コマツノ コカゲニ シウロク シマダガ デテキテ

| 77 67 | 34 31 | 77 67 | 34 31 | 77 67 | 677 677 |

コマネク ナニカワ サテオキ ユカズバ ナルマイズンベラズンベラ

| 677 35 | 5553 17 ‖

ズンベラ

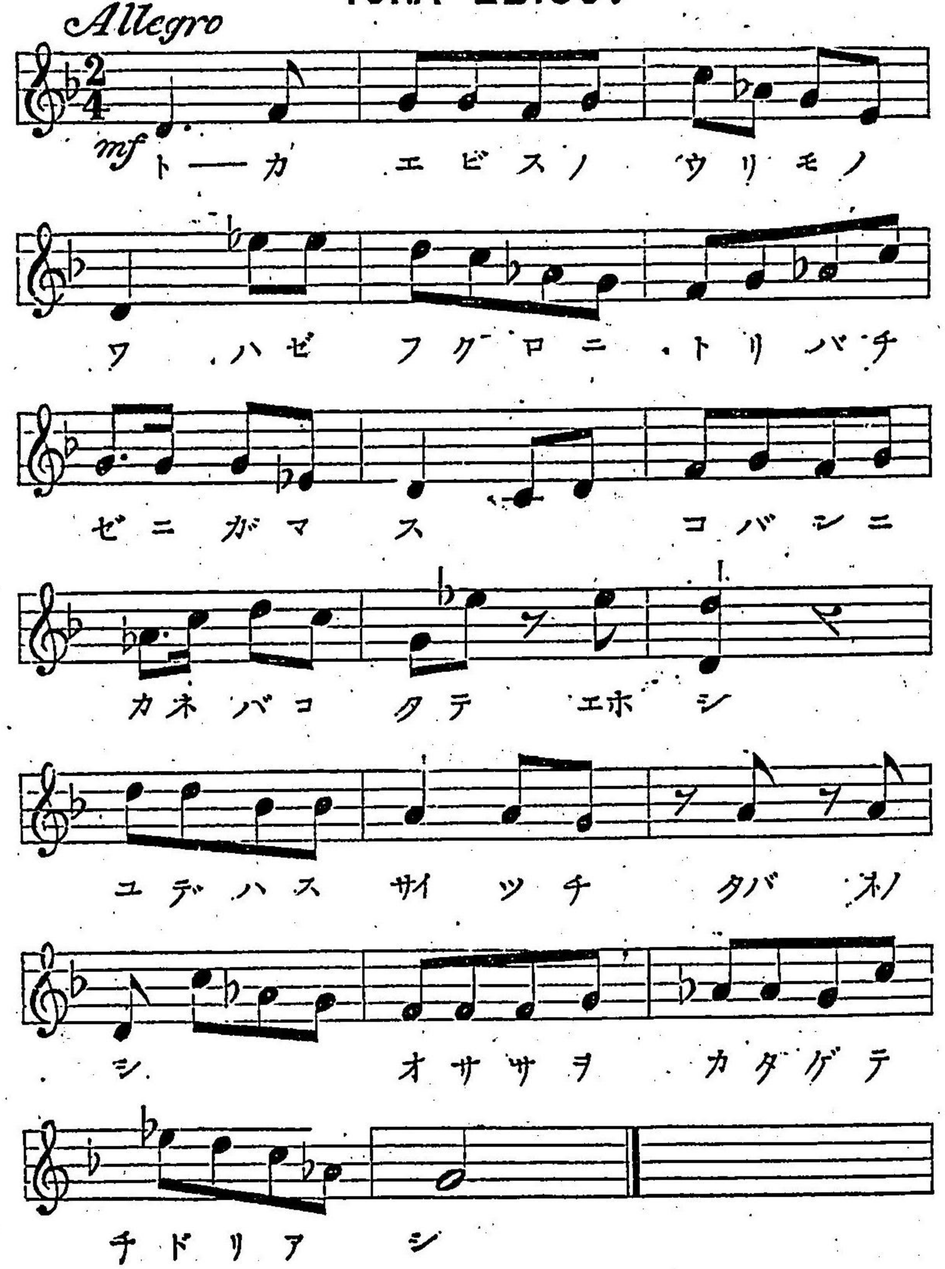
權兵衛種蒔

◎權兵衛がたねまきや
烏がほぜくる
三度に一度は
追わぜばなるまい

◎向ふの小山の小松の小かげに
十六島田が出て来てこまねきや
何かはさておき行ろぜばなるまい

十日恵美須。
(とうかえびす)

TOKA-EBISU.



十日恵美須。數字音譜

$\frac{2}{4}$ { 2. 4 | 55 45 | 16 53 | 2 33 | 21 65 | 45 61 | 5.5 53 | 2 12 |

ト カ エビスノ ウリモノ ハ ハゼブクロニトリバチゼニガマス

| 45 45 | 6.1 21 | 53 03 | $\frac{2}{2}$ 0 | 22 77 | 6 65 | 06 06 | 21 65 |

コバンニ カ子バコタテエホシ ユデバスサイツチタバ子ノ シ

| 44 45 | 66 51 | 32 16 | 5 — ‖

チサヽチ カタゲテチドリアシ

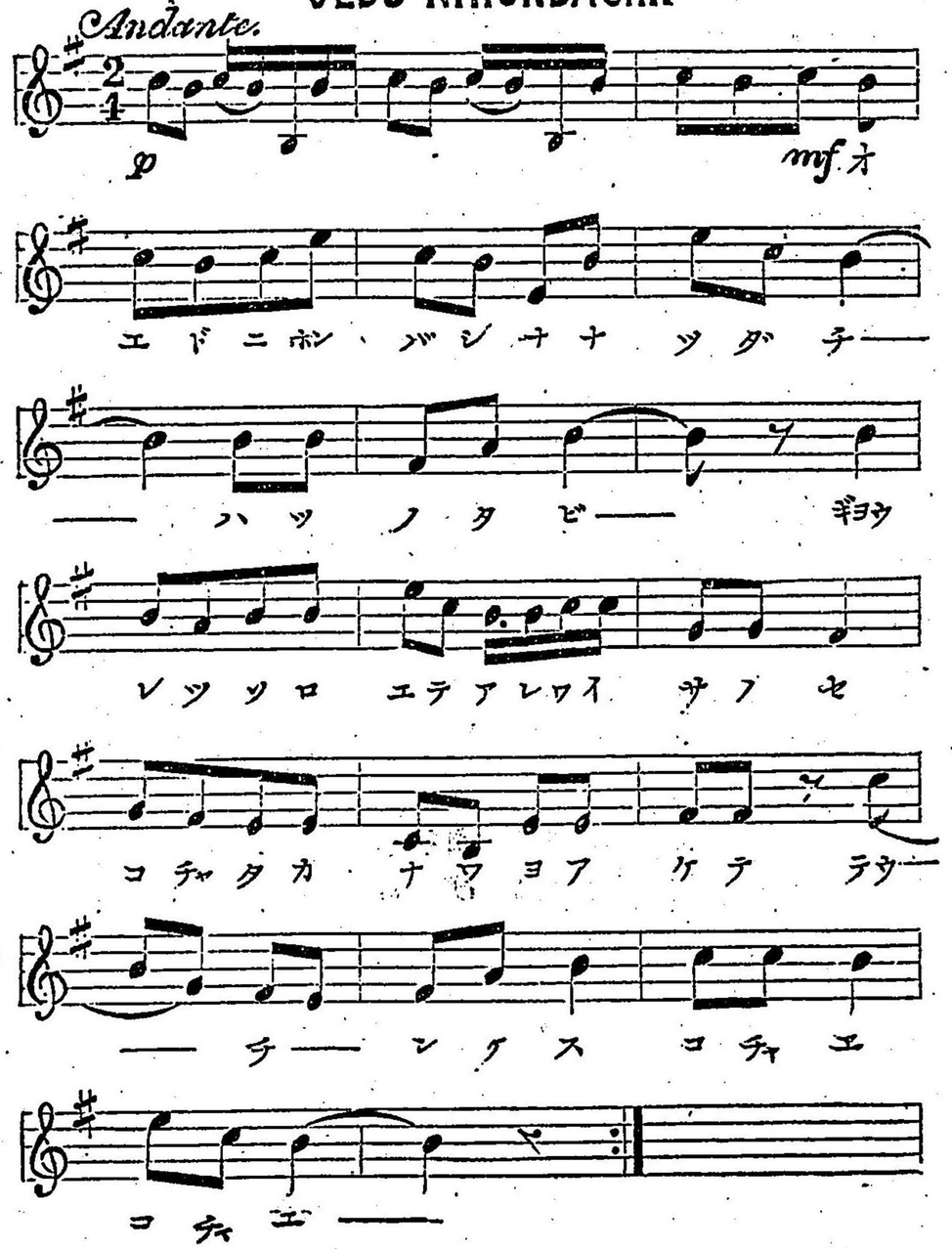
十日恵美須

◎十日恵美須の賣物ね
はぜ袋に取鉢錢がます
小判と金箱立烏帽子
湯で蓮さい槌たばねのし
御笹と肩げて千鳥あし

◎サアサ世の中妙なもの
派手浴衣ゐ束髪手と洋匣
是なら當世伊達姿
イヤニ開けさ女子の風
されど刹發は一人無し

江戸葵。五十三次の内
（おおえどにほんばし）

OEDO-NIHONBASHI.



江戸葵・數字音譜

2/4 { 17 1777 | 17 1777 | 17 17 | 17 13 | 17 37 | 31 7 | 7 77 |

オエドニホンバシナナツダテーハツ

| 46 7 | 70 7 | 76 77 | 31 7711 | 55 4 | 54 33 | 17 33 |

ノタビーギヤウレツソロエテアレワイサノセコチヤタカナワヨア

| 44 01 | 75 43 | 46 7 | 11 7 | 31 7 | 70 ‖

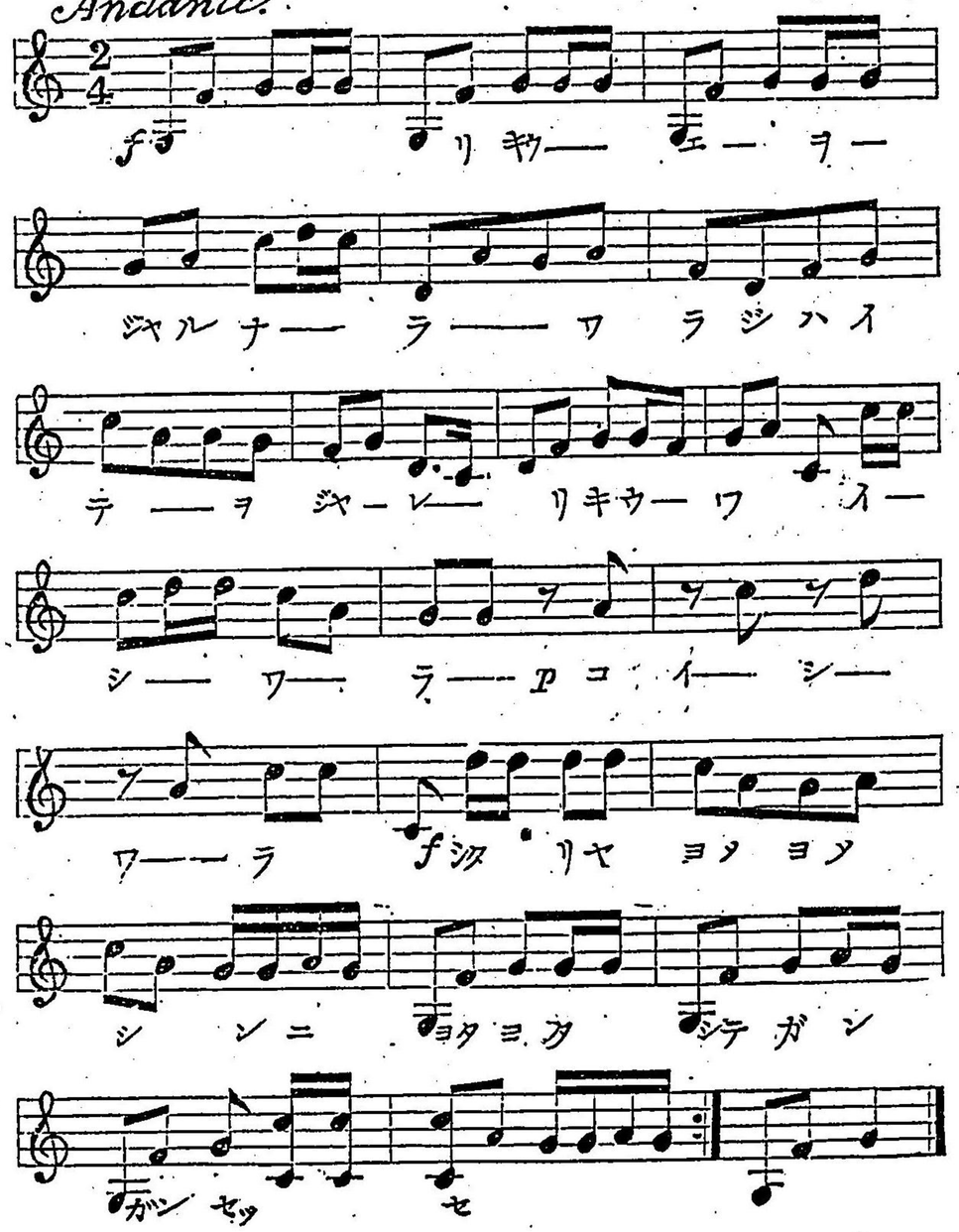
ケテチヨリーチーンケスコチヤエコチヤエー

御江戸日本橋

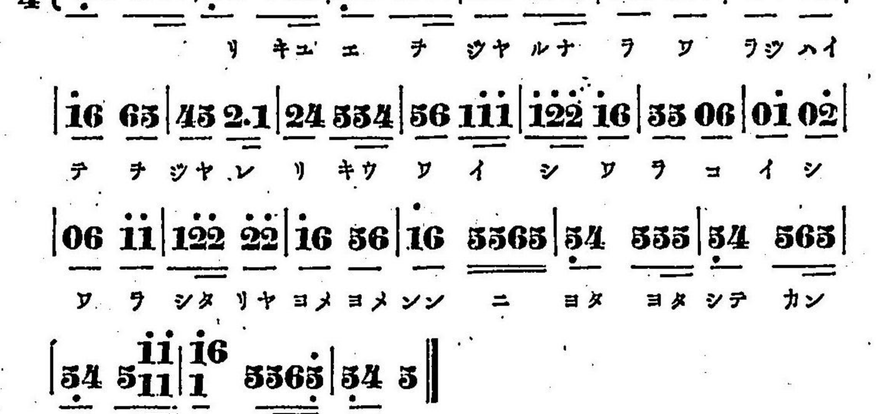
◎御江戸日本橋七つたち
初の旅行列そろへて
あれもいさのさ
コチヤ酣夜明て提燈消す

◎朝は東京の日本橋夕方ユは
京都大阪と跡ふ向けて
此方神戸の付馬ふ
出逢する激車エ〳〵

琉球節
(りきうぶし) RIUKIU-BUSHI.



(琉球節・數字音譜)



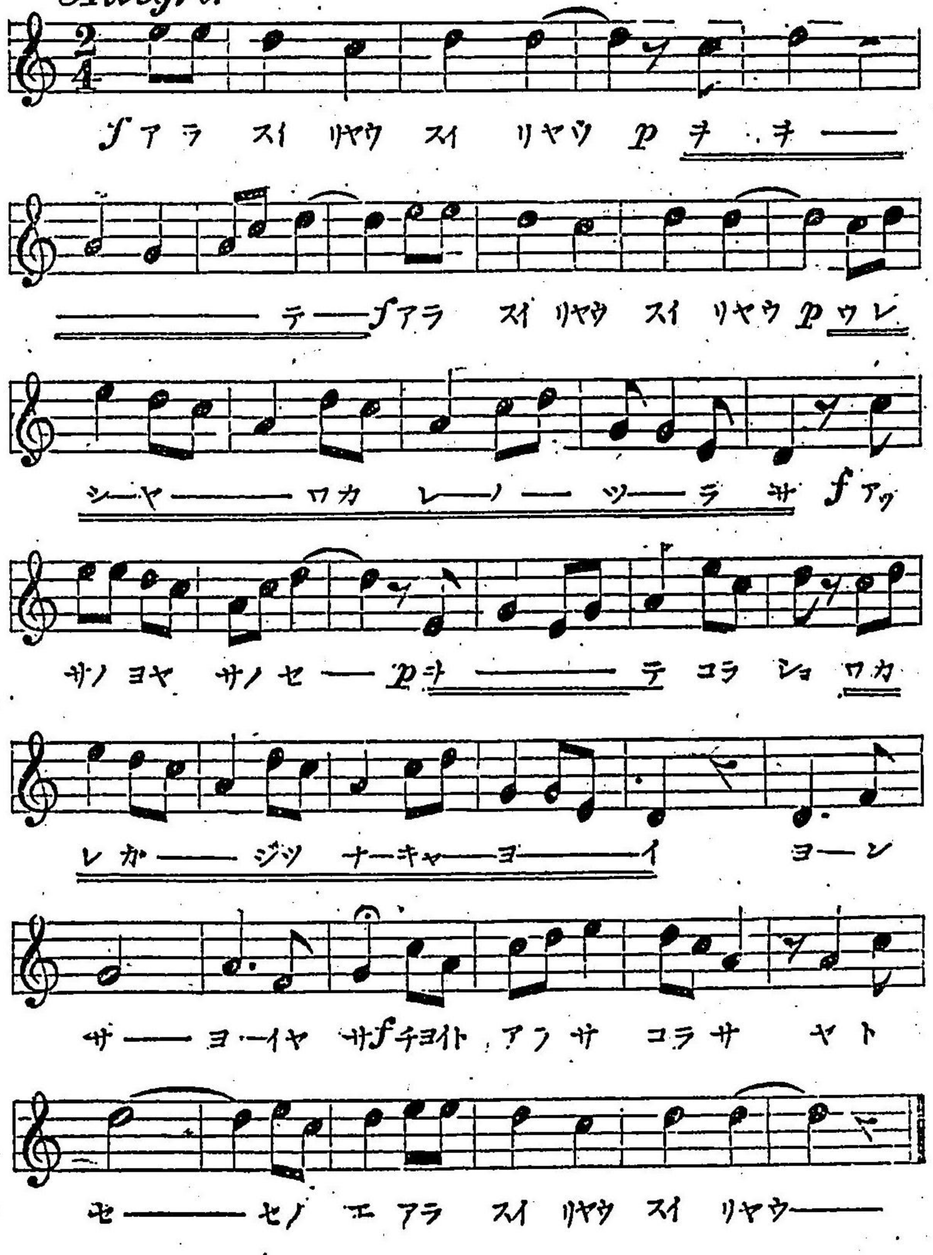
琉球節

⊙琉球へ御行あら草鞋穿ておじやれ
琉球は石原小いしえら
⊙蝦夷へ渡るなら橈もて渡れ
蝦夷は雪國つもるくま
⊙利休とぶらんじ。しやんばん。びいる。
酔ぬて酒宴して見たい

推量節。
（すいりやうぶし）

SUIRYO-BUSHI.

Allegro.



推量節・數字音譜

推量節

◎逢ふて嬉しや別れのつらさ
逢ふて別れが無けりやよい
◎今日の別れのつらさと知らば
逢はぬ昨日がましぞかし
◎別れて帰りや柳の芽よも
ぬくむ涙の露のたま

合放連(かつぱれん)一

KAPPORE.

Allegro.

ff

ff オ キ ノ クラ イ

ノ ニ シラ ホ

ガ f mf サ ミ

ユル p ヤレ コノセ アレバキ

ノ ク ニ f ヤレ

コノ コレワノ サ サ サ サ サ ミカ

合放連(かつぱれん)二

KAPPORE.

ン ブ ネガ サ p ミカン

ブ ネ ミ カン ブ ネガ

サ

ミ f ユール p ヤレコノ セ アレワ

キ ノ ク ニ

ヤレコノ f ミカンブ 子・ササ サ サ サ ミ

カ ン ブネ ジャエ

合放連

◎沖の暗いのに白帆が見ゆる
あれは紀の國みかんぶね
◎天空乃暗のゝ明りが見ゆる
あれは佃乃白魚ぶね
◎天空の暗のゝ門の戸たゝく
あれは配達新聞紙

◎隅田川路ゝ瀧船が見ゆる
あれは両國渡し船
◎家の列に國旗が見ゆる
是れ祭の式祝
◎海の暗のゝ光が見ゆる
あれは港岬の燈明臺

合放連・數字音譜

2/4 { 66 32 | 3 33 | 377 74 | 6 0 ‖ 05 6 | 67 6 | 3 3 | 05 6 |
チ キ ノ ク ラ

| 56 7 | 7 6 | 3 3 | 05 6 | 56 7 | 2 32 | 72 3 | 63 3 | 63 3 |
イ ノ シ ラ ホ ガ

| 4 32 | 76 7 | 72 3 | 3 6 | 0 72 | 72 3 | 03 4 | 4 3 | 3 2 | 2 72 |
サ ミ ユ ル ヤレコノセアレハキノク

| 72 3 | 0 32 | 72 6 | 65 3 | 63 3 | 3 3 | 05 6 | 56 7 | 2 7 |
ニ ヤレコノコレワノササササササミカンブ

| 65 6 | 36 6 | 06 6 | 63 2 | 3 05 | 6 56 | 7 2 | 32 72 |
子カサ ミカンブ子 ミカン ブ子ガ

| 3 63 | 3 63 | 3 4 | 32 76 | 7 72 | 3 3 | 6 0 | 72 72 | 3 03 |
サ ミ ユル ヤレコノセアレ

| 4 — | 3 — | 2 — | 72 72 | 3 0 | 32 72 | 6. 4 | 3 63 | 3 3 |
ワキノ ク ニ ヤレコノミカンブ子サササ

| 3 05 | 6 56 | 7 2 | 7 65 | 6 36 | 6 0 ‖
サミカ ンブ子ジヤエ

合放連。三 豊年満作
(かつがれぼう禄ん)

K. HONEN.

Allegro.

ff

mf ホウネン ジャ マンサク ジャ アスワ

タンボノ イチカリ デ コタバニ カラゲテ

チョキトナゲタ p ナゲ ― テ ― ― セ

セ mf カラ ― ゲ ― テ オ オータ

バニ ― ツミ アア ― ゲ テ エー

f 大セ セノアレワイ サノ ヨイヤ ホー子 ―

合放連。四
(かつは出かう禄ん)

K. HONEN.

ン ジャ

ff イチカケ キンカワ

ニガケ トケイナ サンカケ チョトカケ テ シカケテ シガレート

ゴカケテ ハシカケテ パッパット ナンコタナイ mf ワタ シャ ―

― サッ サ ソク ― ― ハ ツ ア

ナタノ ソバ ― デ カンゴ ヨウゴ

ベン キョ f オセセノ コレワイサノ ボウズハ

マルコ ― イ ― コノ ショウ ガイ ナ ――

合放連豊年満作・数字音譜

$\frac{2}{4}$ {66 32|3 3.3|377 74|6 0‖ 7 72|3 0|43 27|6 0|

ヤ ウ ク サ マ ン ジ ヤ ホ ウ ネ ン ジ ヤ

|07 77| 3 33|43 27|6 0|7 72|03 33| 43 27|6 0|

ア ス ハ タ ン ボ ノ イ チ カ リ デ コ タ バ ニ カ ラ ゲ テ チ ヨ イ ト ナ ゲ タ

|2 0|32 76|2 3|3 0|4 3|2 7|6 05|6 7|02 72|

ナ ゲ テ セ ツ セ カ ラ ゲ テ テ ナ ナ タ バ ニ

|6 4|04 4|4 23|63 3|0 72|76 72|76 02|72 6|64 32|

ツ ミ ア ア ゲ テ チ セ セ ノ ア レ ハ イ サ ノ ヨ イ ヤ ホ ネ

|34 6|36 6|6 0‖ 77 72|03 33|43 27|6 0|77 72|

ン ジ ヤ イ チ カ ケ ニ カ ケ サ ン カ ケ テ シ カ ケ テ

キ ン カ ワ ト ケ イ テ チ ヨ ト カ ケ テ シ ガ レ ト

|33 33|43 27|6 0‖ 2 0|32 76|2 3|3 0|4 3|2 7|

カ カ ケ テ ハ シ カ ケ テ ワ タ シ ヤ サ ワ サ ソ ク ハ

バ ツ バ ト ナ ン コ タ ナ イ

|6 05|6 7|02 72|6 4|04 4|04 23|63 3|3 0|

ツ ア ナ タ ノ ソ バ デ カ ン ゴ エ イ ゴ ベ ン キ ヨ

|72 76|72 76|72 32|7 27|6. 4|32 34|6 36|

オ セ セ ノ コ レ ワ イ サ ノ ボ ウ ツ ワ マ ケ ナ イ コ ノ シ ヨ ウ カ イ ナ

|6 0‖

合放連豊年満作しや

◉豊年じや満作じや 明日は田圃の稲苅じや
小把に拵ぎて一寸あぎた
あぎて拵ぎて大把に積上ぎて豊年じや
一おけ二おけ三おけ四おけておけて
はしおけて金側時計を一寸おけて
巻煙草をつと何の事あい
わたしや束髪あたの傍で漢語洋語勉強

越後獅々.一
(えちごじし)
ECHIGO-JISHI.

Allegro.

f

f

mf オノガ スガタ

ハナトミ テ—— ニ—— ワーニー

サイ— タ—リ サカー セータ—

リ ソ コナオ ケサ— ニイナ

コ— ト イーワー レ ネマリ

越後獅々.二
(えちごじし)
ECHIGO-JISHI.

ネマラズ マチアカス ゴ

ザレハナシマ ショ コンコマ ツノ コカ

ゲテ マ ツノハノ ヨニ コンコマ ヤカニ

ヒイ テ—ウ ト— ヤ— シ

シ— ノ— キョ— ク—

越後獅々・數字音譜

2/4 { 66 76 | 76 71 | 31 76 | 4. 0 | 46 76 | 4. 3 | 46 43 |

| 22 23 | 43 72 | 3. 0 | 22 3 | 4 4 3 | 66 76 | 7 13 |
| チノガ スガタチ ハナトミテ |

| 44 3 | 11 13 | 44 3 | 131 76 | 71 36 | 17 64 | 3. 4 |
| ニ ソニ サイタ リサカセタリソ |

| 67 1 | 3 17 | 6 64 | 6. 7 | 17 64 | 3. 3 | 71 17 | 13 17 |
| コナチケサニイナコトイ ソレ 子マリ子マラズ |

| 67 16 | 464 32 | 34 6666 | 77 111 | 717 676 |
| マチアカ スゴ ザンハナシマ シヨコンコマ ツノコカ |

| 43 22 | 03 46 | 43 777 | 72 3 | 01 3 | 17 67 | 16 4 |
| ゲデマツノ ハノヨニコンコマヤカニヒイテウト |

| 32 36 | 4. 3 | 444 32 | 23 07 | 6 | 4 4 | 3 0 ‖ |
| ヤシシ ノ キヨク |

越後獅々

◉已が姿を花に見て　庭に咲こそ咲せたり

其處おおけさに異なことおわれ

ねはりねはらばまちあうを

おざれはなしましょう　こん小松の小蔭で

松の葉の様にこんこはやおに

彈て歌ふや獅々の曲

菜之葉。一
（かのえ）

NA NO HA.

Moderato.

mf カワイ— ト イウ ユ ト— ワタ

カ ハ ジ— メケ ン— ホ カノ

ザ シ キモ— ウワ— ノ ソ— ラ f

p モト サ— マ—

— マサ ル— ト シメス ココロノ

アド ナサ —ヨ f

p ウエ ウ— エ — サ —

菜之葉。二
（なのは）

NA NO HA.

アマノ — チワ— ブミ— モベッニ

チガワヌ— サマヨイ— ルf

テモイ マワセ— バー

モ— タ— イデテ f

p コト — バ — サグ

タ— テ— オモ— ウ— コ— ト ナノハニ

ト— マ— レ テウ— ノ — ア — サ

菜之葉

◉可愛と云ふことは　誰が　初めけん
外ヨ塵敷も　うはのそら　もとさは
はいるとしめさ　心ヨ　あとあさよ
上々様の痴話ふみも　別に違らぬさは参る
思ひ廻せば　勿体無ふて
言葉さけたら　思ふ事
菜ヨ葉には　まま　蝶のあさ

譜音字數・葉之菜

4/4 {7- 37 |6- 67 |i — 7 - |i76 - |4 — 4 - |0 44 - |
カワイト　イユコトソタガ　ハ　ゲ

|3233 |3 — 4 - |643 23 |4 64 3 17 |66 66 3 |
メケン　ホ　カノ　ザシキモウワノソラ

|3.1 77 3 |7773 |7/7 — 7 - |1764 |4 — 4 - |
モト　サーマ　ーーーマイ

|7.6 432 |334 - |643 23 |4643 17 |66 66 3 |
ルト　シメス・ココロノ・アトナサヨ

|3.1 77 3 |7 7.6 73 |7/7 — 7 - |1764 |4 — 7.6 4 |
ソエ　ウーエ　ーー　サ

|4 — 43 |4 2 — 3 |4043 |4643 |043 23 |
マ　ノ　チ　ワ　ア　ミーモベツニ　チガワヌー

|4314 17 |6 01 66 01 |66 01 67 64 |4064 3 |
サママイル　テモイ

|36 1 76 43 |2234 44 04 |04 32 24 |22 04 22 04 |
マワセバモタイ　ノテ

|23 4.67 3 |7.6 7 31 |76 44 6 |43 67 10 76 |
コト　バ　サゲタラテモ

|44 43 - |4343 |643 3.1 7 3.1 |77 - 1 |7.643 - |
ウコト　ナノハニト　マレ　チヤウ　ノ　アサ

(2 — 3 -)‖

磯の鬼。一
(ほどけてゐるように)

HORETE-KAYOUNI.

Allegro moderato

f ホレ——テ カヨーウ——ニ

p ナ ニ——*f* コ ウ カ——

ロ—— *p*コヨ——イ

アーナ——トヂ

ヤミ——ノ—— ヨ ミ——

チ——ヂ タク ヒ——ト——

リ サキヤ サホド—— ニ モ オ

磯の鬼。二
(ほれてゐるように)

HORETE-KAYOUNI.

モヤ セマ イニコチヤ ノボリ ツ—

メ——エ*p*エ ヤ マ——

ヂ——コ エ テ ア イ ニ ユ ク——

惚れて通ふに何こいおらう

◉ほまて通ふに何今宵逢ふとて闇の夜道を唯獨り

先きやき程に思ひいせまい

此ちや登り詰エ、山を越て逢に行く

◉好いて行おんに何おはおらう

是非おくて通ふおとには唯獨り

先方何處に有るにもせよ

此方せつくと人に便りて

急ぎ行く

磯鮑・數字音譜

4/4 { 7 3 7.7. 7 | 3 7 71 64 | 67 1.1. 17 | 01 76 7 06 | 7 73 2 3 |

ホレ テ カヨウニ ナニ

4. 6 4 33 | 01 70 3.1 13 | 17 6 6 0 | 6 3. 4 32 |

コソカ ロ コヨイ

72 60 44 67 | 64 30 30 10 | 77 16 70 30 | 7 0.6 77 2 |

アチ ト ヤミ

3.. 2 30 44 | 30 1 0 11 | 10 33 13 17 | 63 67 10 30 |

ノ ヨミチ テ タズ

10 71 60 40 | 3 63 60 70 | 30 1 1 — 3 3 | 3 1 — 33 |

ヒトリ サキヤサホドニチ

13 17 61 76 | 4 3.6 4 | 06 7 01 77 | 3 23 4 0 |

モヤセマイニコチヤノボリツメ

3 0 11 31 | 70 50 6.. 4 | 3 2 3 0 | 40 30 10 70 |

エ ヤマチコエテアイ

6.4 46 717 37 | 7 73 23 44 | 3331 71 7777 64 |

ニユク

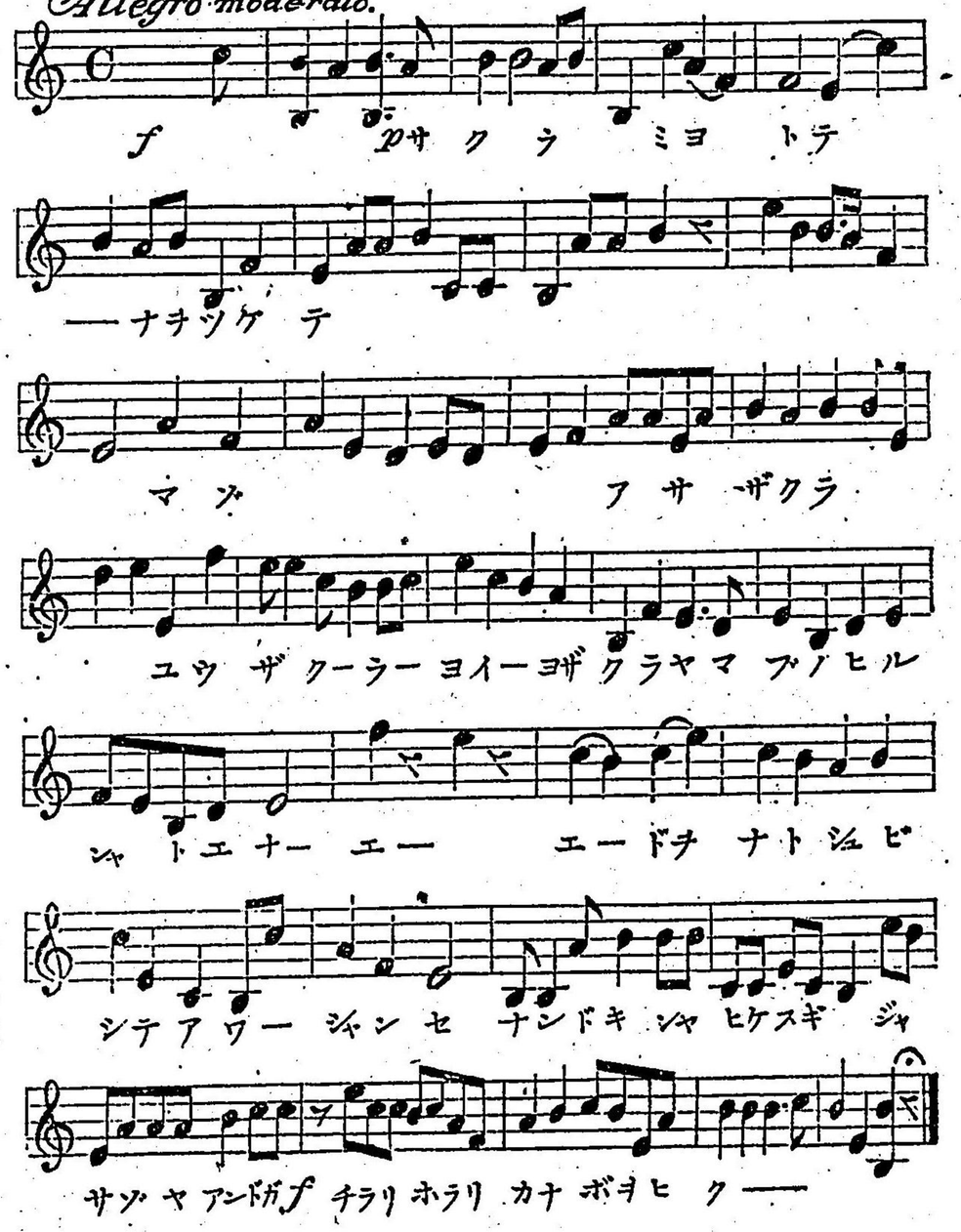
3 0 60 40 | 3 13 04 31 | 7.6 71 30 17 | 67 10 17 64 |

3. 1 70 30 | 7 31 70 40 | 7 —. ‖

吉原之託櫻。
（さくらみよとて）

SAKURA-MIYOTOTE.

Allegro moderato.



吉原之託櫻・數字音譜

4/4 { 1 | 7 7 6 7. 7. 6 | 7 7 – 67 | 7 i 6 4 | 4 – 3 i | 7 67 7 4 |
サク ラ ミヨ トテ ナチツケ

| 3 66 7 11 | 7 66 7 0 | 3 7 7.6 4 | 3 – 6 4 | 6 3 2 32 |
テ マツ

| 3 4 66 36 | 7 6 7 73 | 2 3 3 4 | 3 3 i 7 71 | 3 i 7 6 |
アササクラ ユフサクーラ ヨイヨザ

| 7 4 3.2 | 3 7 2 3 | 43 72 3 – | 4 0 3 0 | i 7 i 3 |
クラヤマプノヒル ジヤトエナ エ エドチ

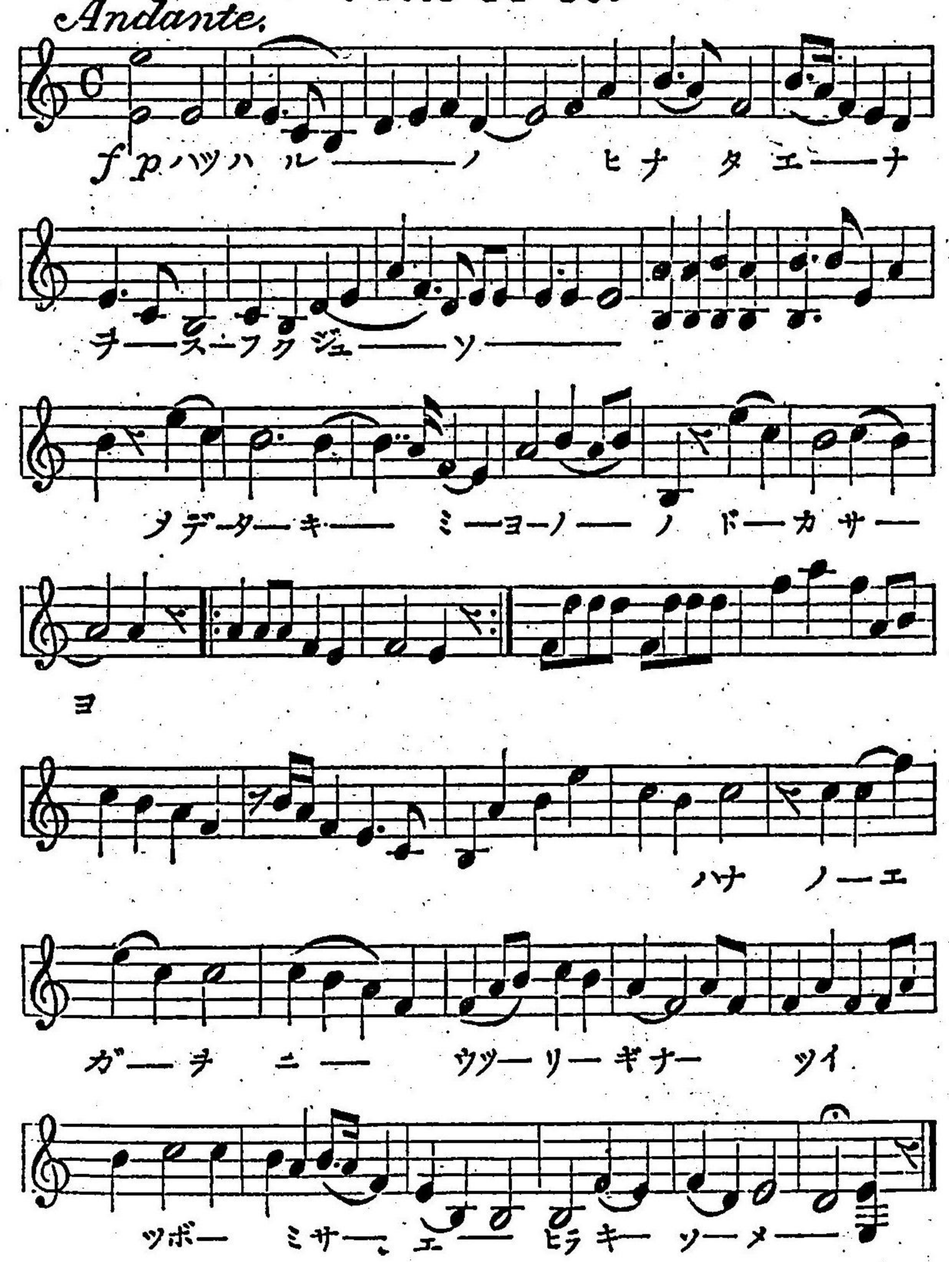
| i 7 6 7 | i 3 1 7i | 6 4 3 – | 7 7 6 7 77 |
ナトシユビシテアワ シヤンセ ナントキジヤ

| 11 31 7 17 | 36 66 7 i i | 03 ii 71 64 | 6 7 17 36 |
ヒケスギジヤ サツヤアンドガ チラリホラリーカ ナボヒ

| 7 7 7. i | 7 3 7 0 ‖
ク

福壽艸
（ふくじゅそう）

FUKU-JU-SO.



櫻見よとて

◉櫻見よとて 名を付て 先ぱ
朝櫻夕櫻宵夜櫻や
真の晝しやと思ふ
江戸を名と首尾して逢しやんせ
何時しやひけをぎしや
きぞや行燈が
ちらほらり おぼひろ

福壽艸・數字音譜

$\frac{4}{4}$
3 — 3 — | 4 3. 1 7 | 2 3 4 2 | 3 — 4 6 | 7. 6 4 — |
ハツ ハール ノ ヒナータ

| 7.6 4 3 2 | 3. 1 7 — | 1 7 2 3 | 6 4. 2 33 | 3 3 3 — |
イ ナチース フクジュ ——ソ ——

| 6 6 7 6 / 7 7 7 7 | 7. / 7. 7 3 4 | 7 0 3 1 | 7 — . 7 | 7.. 6 4 3 |
メデタキ ミー

| 6 — 7 67 | 7 0 3 1 | 7 — 1 7 | 6 — 6 0 | 6 66 4 3 |
ヨ ノーノ ドケ サヨー

| 4 — 3 0 | 6 66 4 3 | 4 — 3 0 | 32 2 2 32 22 | 4 6 4 67 |

| i 7 6 4 | 0 4 3. 1 | 7 6 7 3 | i 7 i — | 0 i i 4 | 3 i i — |
ハナノエガナ

| i 7 6 4 | 4 67 i 7 | 6 4 — 64 | 4 6 4 46 | 7 i — i |
ニ ツツリーキナー ツイ ツボー

| 7 6 7.6 4 | 3 7 7 — | 7 — 4 3 | 4 2 3 — | 2 — 3/3 0 ‖
ミサーエ —— ヒラキ ソメ——

福壽草

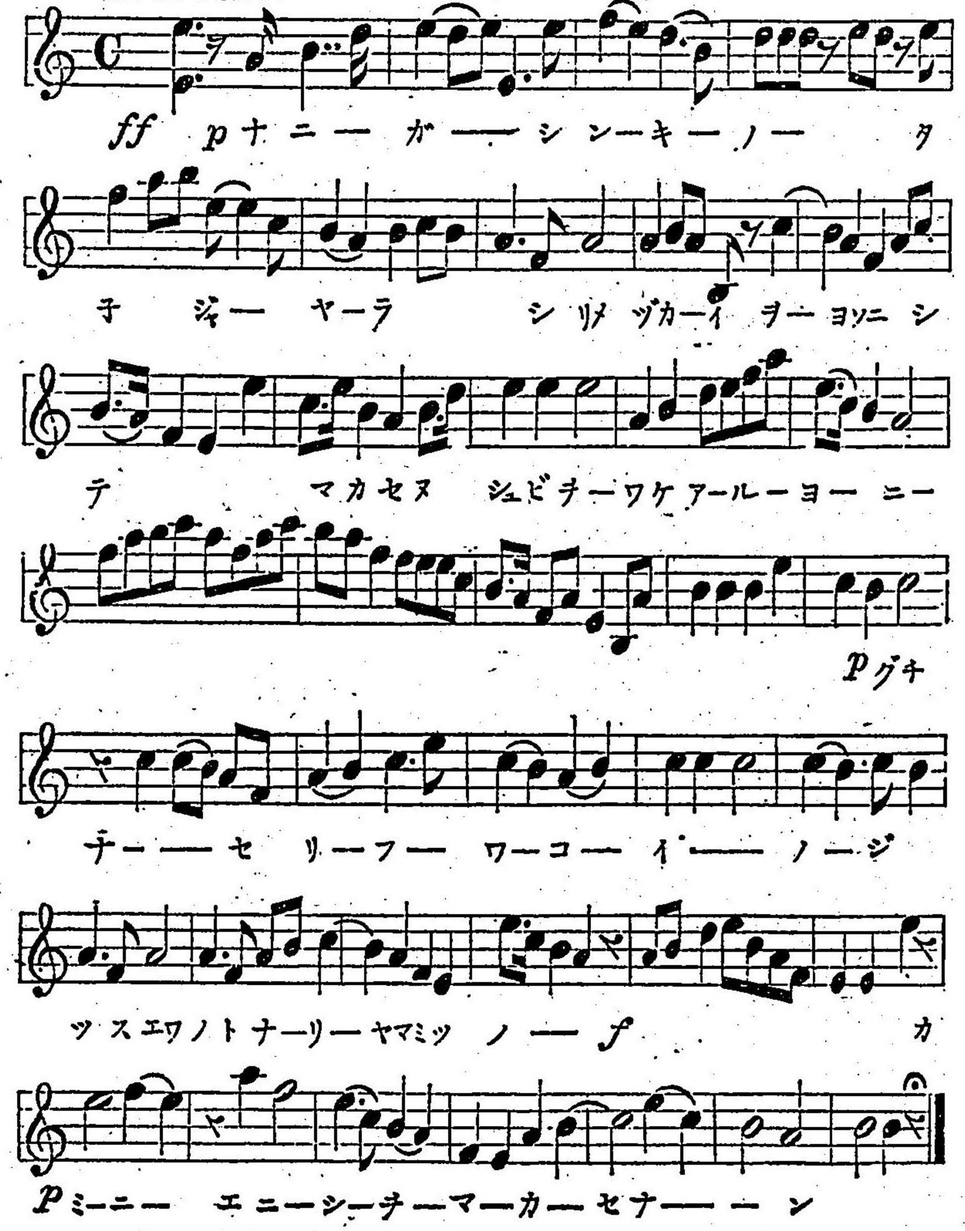
◉初春(はつはる)の日向(ひあた)へおほき福壽草(ふくじゅそう)
　もたけき御世(みよ)の長閑(のどか)さよ

　花(はな)の心(こころ)を移(うつ)すまで
　ツイ蕾(つぼみ)さへ開(ひら)き初(そ)め
　ツイ蕾(つぼみ)さへ開(ひら)き初(そ)め
　ツイ蕾(つぼみ)さへ開(ひら)き初(そ)め

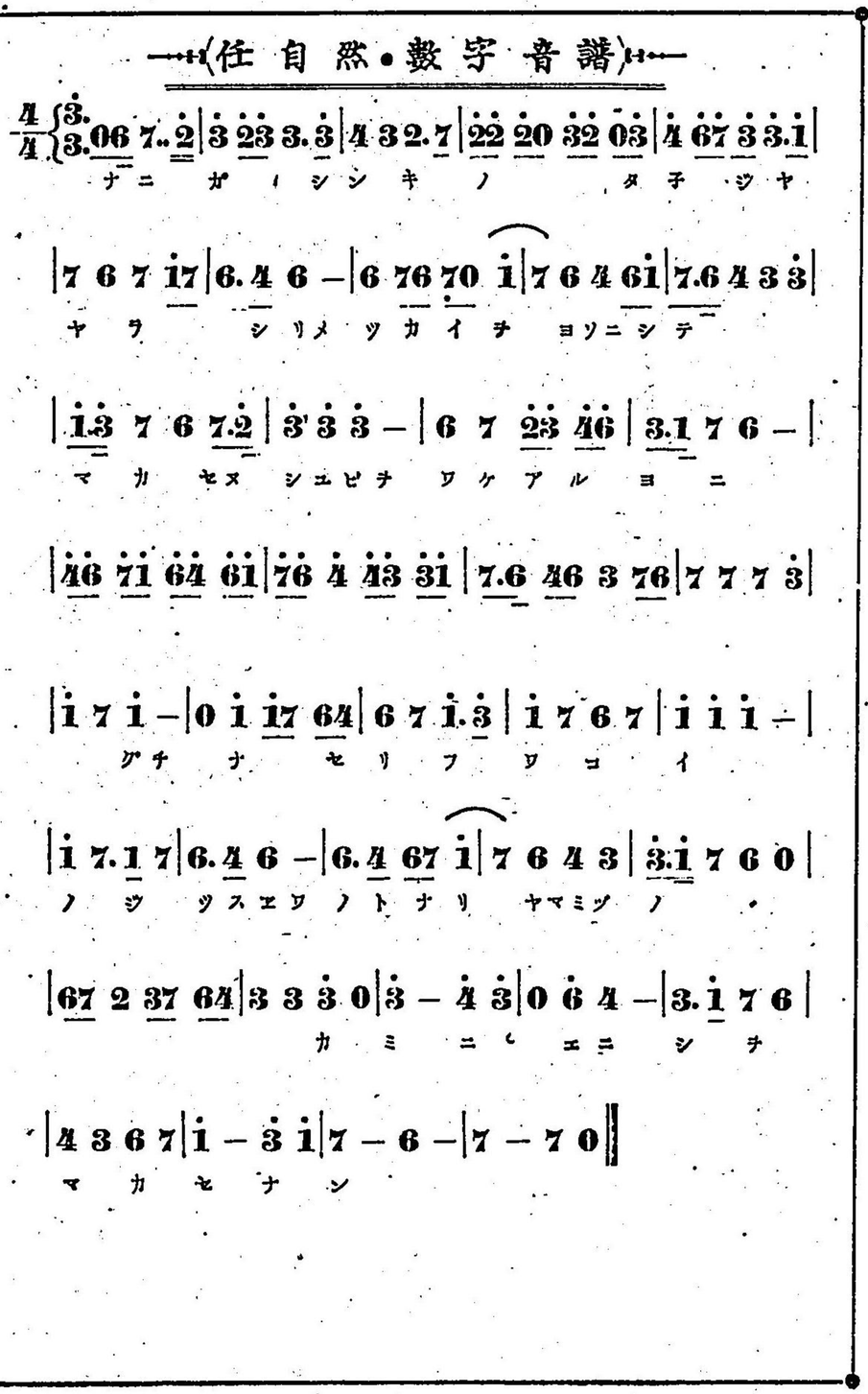
◉君(きみ)が世(よ)は千代田(ちよだ)の宮(みや)も寶田(たからだ)の
　松(まつ)もみどりの常盤(ときわ)にて
　雪(ゆき)もおのれの色(いろ)へぬ
　ツノ操(みさを)ころをゝしけれ

無止任自然。
(かようガみ)
KAYO-KAMI.

Moderato.

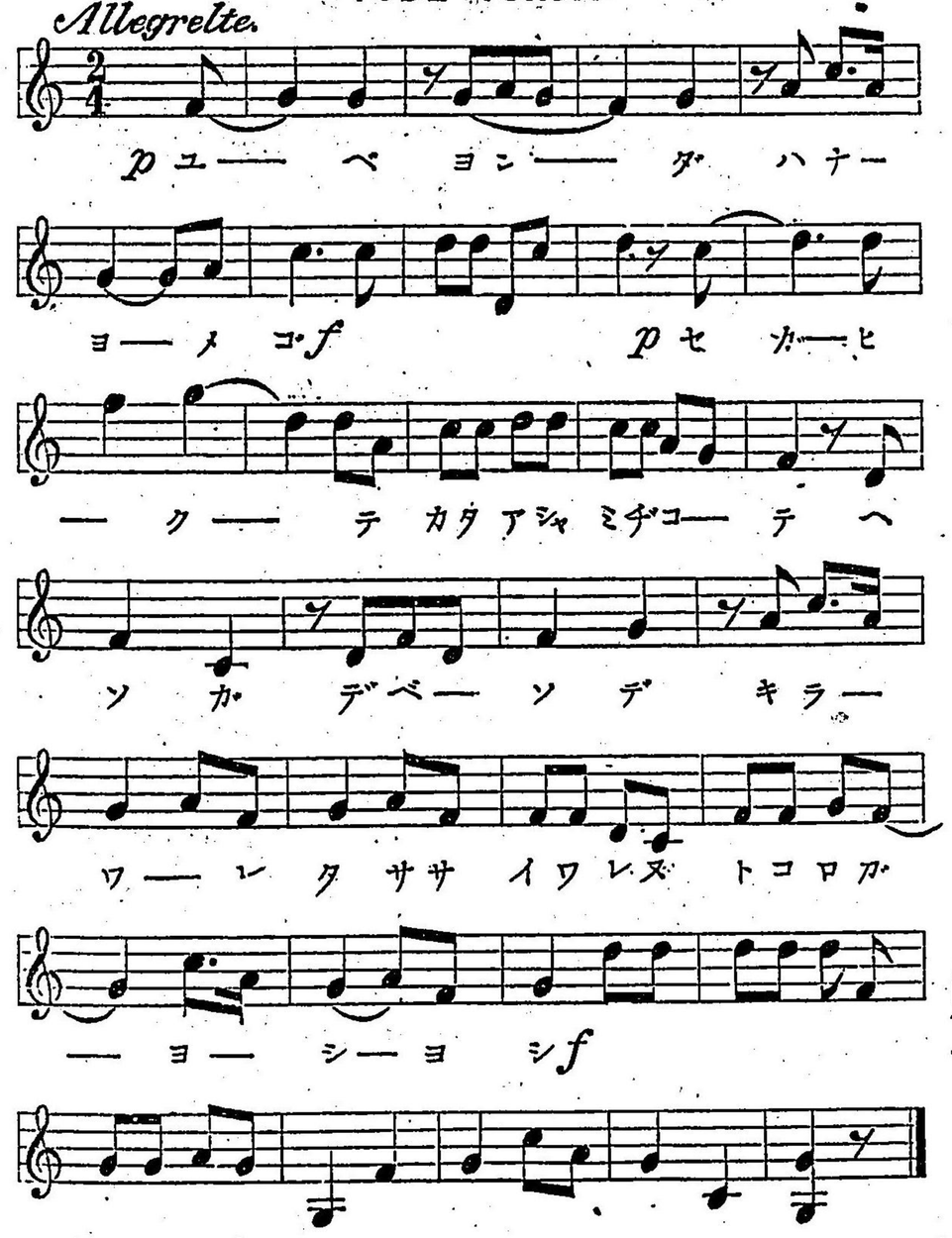


任自然・數字音譜



前夜近妙新婦.
(ゆうべよんだてるよめ)

YUBE-YONDA.



通ふ神

◉何が辛氣の種じややら
尻目使ひも余所處にして
任せぬ首尾をわけあるやうに
愚知あ臺詞が戀の寶
末は野となり山みはえ
沖のゐにしをむすばあん

前夜迎妙新婦（數字音譜）

$\frac{2}{4}$

4 | 5 5 | 05 65 | 4 5 | 06 1.6 | 5 56 | 1.1 | 22 21 |

ユ ー ベ ヨ ン ー ダ ハ ナ ー ヨ メ ゴ

| 2 01 | 2. 2 | 4 5 | 2 26 | 11 22 | 11 65 | 4 02 | 4 1 | 02 42 |

セ ガ ヒ ク ー テ カタ アシヤミダコ テ ヘ ソガ テ ベ

| 4 5 | 06 1.6 | 5 64 | 5 64 | 44 21 | 44 54 | 5 1.6 | 5 64 |

ソ デ キ ラ ー ア ー レ メ サ ヘ イワレヌトコロガ ヨ ー シ ヨ

| 5 22 | 22 24 | 55 65 | 5 4 | 5 16 | 5 1 | 5 0 ‖

シ

前夜迎妙新婦

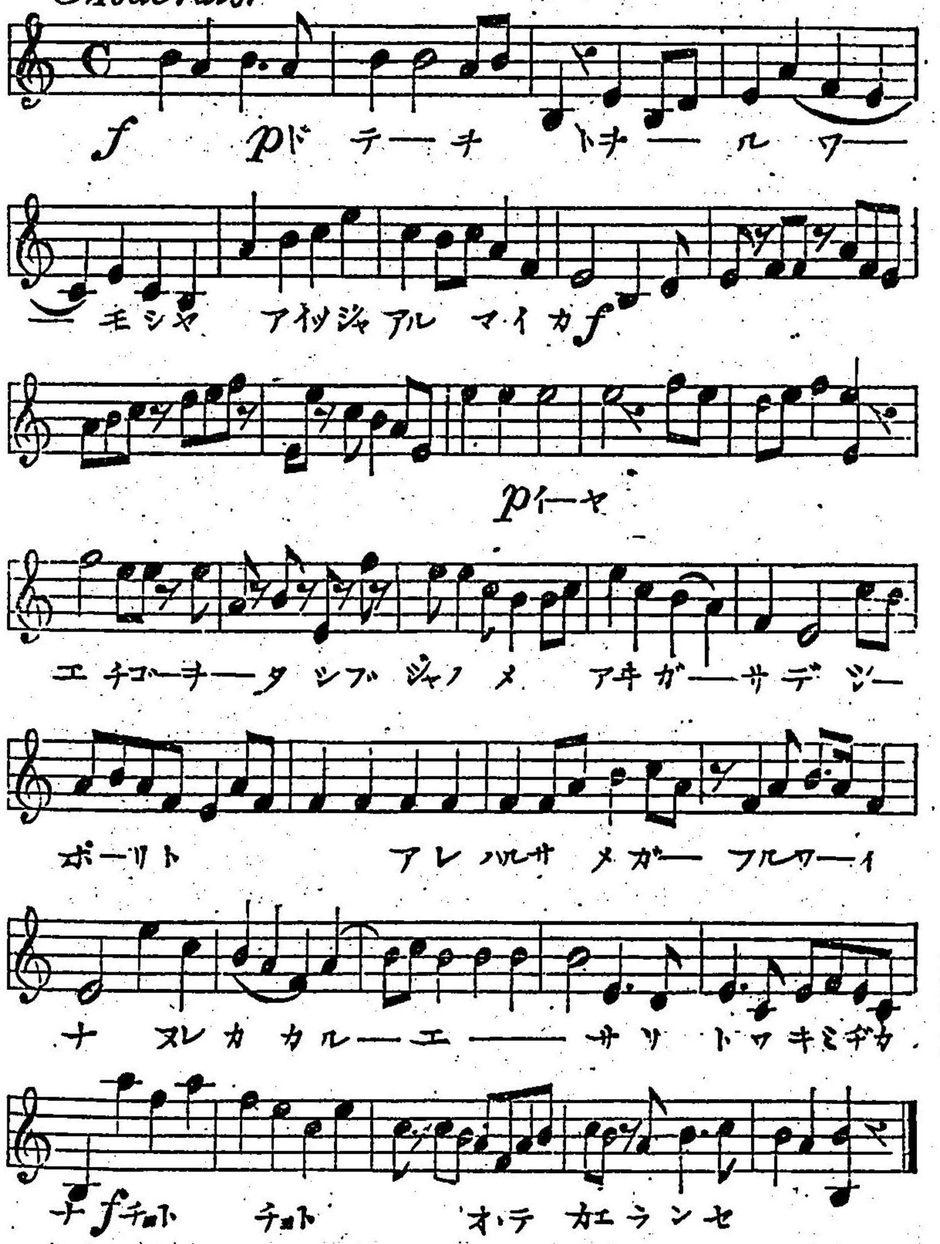
◎夕べ呼んだ花よめご
　背がひくうて片足短く
　臍が出べそでさらされた
　サヽ言れぬところが
　よし〳〵

◎自由に改進保守黨が
　勢か揃ふて僻意地振舞て
　臍が茶と吹くさらひやし
　否よりさむな廢止々々

堤行若幕郎
（ドテヲトオルワ）

DOTEO-TŌRUWA.

Moderato.



土堤と通ふるは

◉土堤を通ふるは若しや
あいつじやあるまいか
イヽへ違ふた澁蛇目相合傘で
し
アレ春雨が降るわいおぬれおる
エーきみとは氣みしおふて歸らんせ
チヨツト逢ふて

〈譜音字數・郎慈若行捉〉

$\frac{4}{4}$ {7 6 7.6|7 7 – 67|7 0 3 72|3 6 4 3|1 3 1 7|
ド テ テ トナ ルヲ ヤシロ

|6 7 13|1 71 6 4|3 – 7. 2|30 44 06 43|
アイツジヤ アル マイカ

|67 10 23 40|33 01 7 64|3 3 3 –|3 – 0 43|
イ ヤ

|23 4 33 0|4 – 33 03|60 70 30 40|3 3 1 7 71|
ニ チゴ チ メ シアジヤノメ

|3 1 7 6|4 3 – 17|67 64 3 64|4 4 4 4|4 46 7 16|
アイガ サデ レ ポリト アレハルサメガ

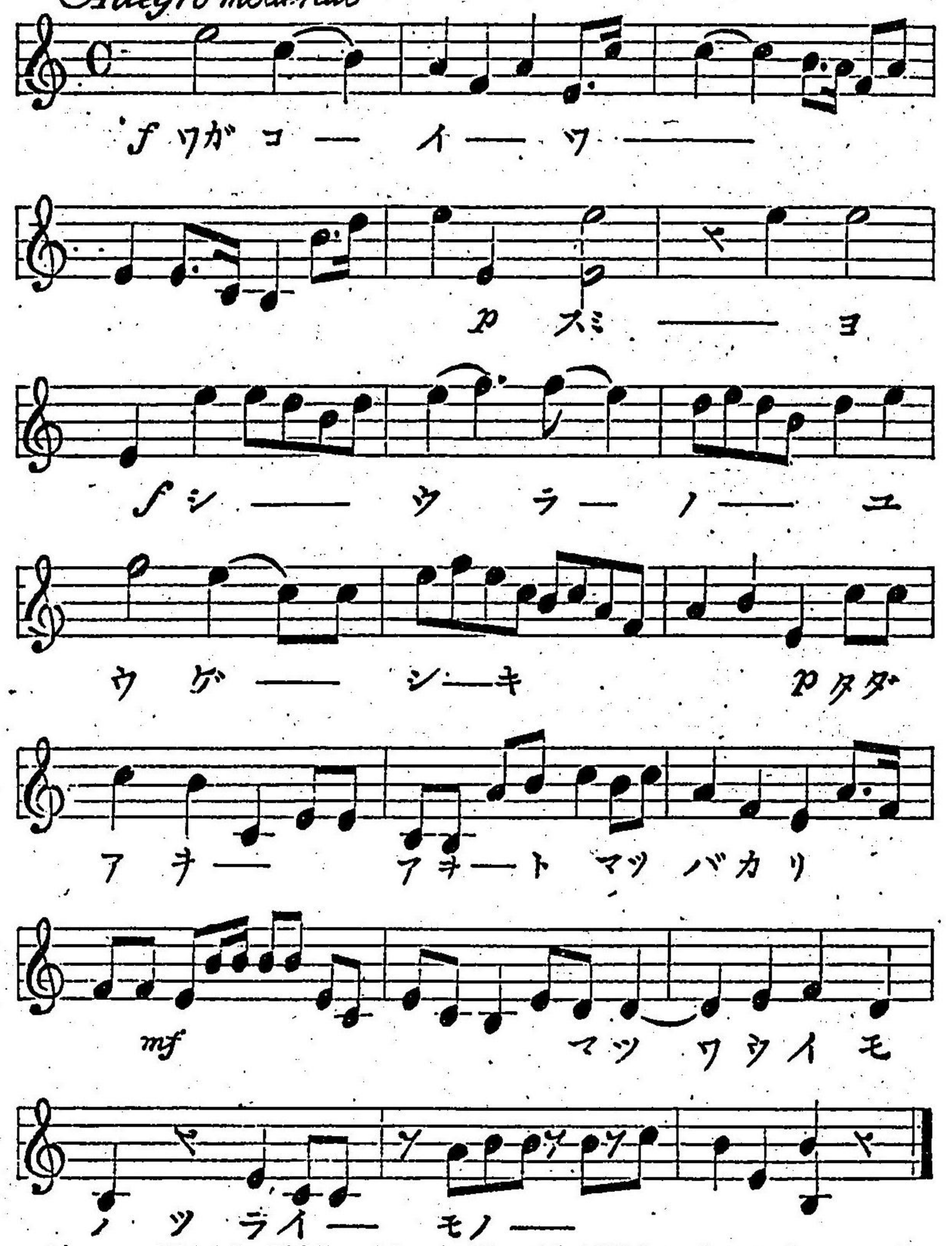
|0 4 6 7.6 4|3 – 3 1|7 6 4 6|71 7 7 7|7 – 3. 2|
フル ヲイナ ヌレカ カ ルエ サリ

|3. 1 34 31|7 6 4 6|4 3 1 3|10 17 64 67|
トハキミヲカナ チヨイ チヨト ナテ

|17 06 7. 1|7 6 7 7 0‖
カイラン セ

久侯戀。
(わがこいわ)
WAGA-KOIWA.

Allegro moderato



(久侯戀・數字音譜)

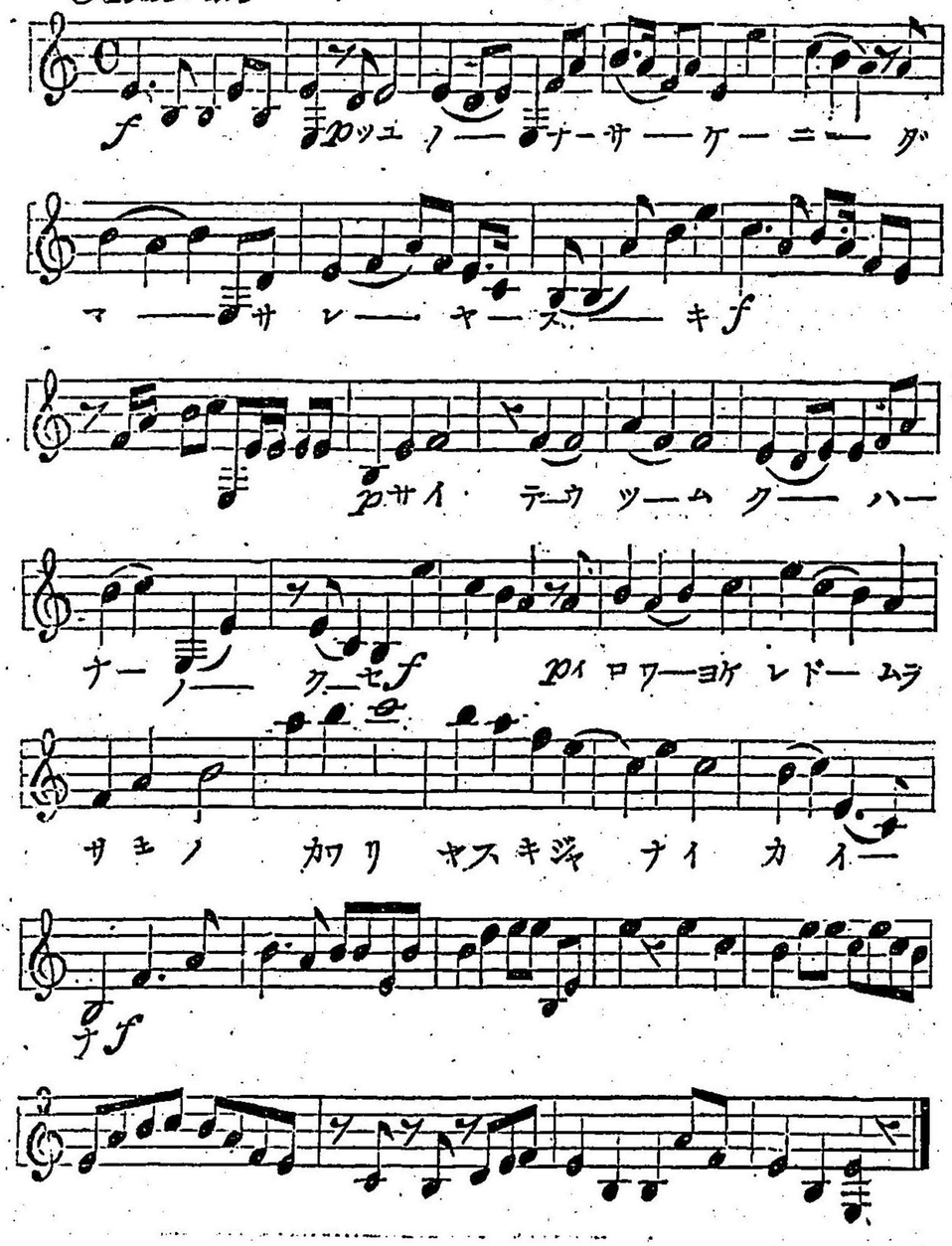
我戀

◎我戀は住吉浦の夕景色
唯青々と松ばかり
松はういものつらいもの
◎我戀ゐのぶの岡のほとゝぎす
樹々にしたゝる血のあみだ
鳴けばさゝゆく月の影

村咲。
(むらさき)

MURASAKI.

Moderato



村咲・數字音譜

4/4 3 7 7 37 | 3/3 02 3 – | 3 23 3 46 | 76 46 3 3 | 1 7 6 06 |
ツユ ノ ナサ ケニ ダ

| 7 6 7 32 | 3 4 64 3.1 | 7 7 6 7 3 | 1 6 76 43 |
マ サレ ヤス キ

| 046 71 333 33 | 7 3 4 – | 0 4 4 – | 6 4 4 – |
サイ テウ ツム

| 3 23 3 46 | 7 1 3 3 | 03 1 7 3 | 1 7 6 06 | 7 6 7 1 |
ク ハナ ノ ク セ イロワヨケ

| 3 1 7 6 | 4 6 7 – | 6 7 1 – | 7 6 4 3 | 1 3 1 – |
レドムラ サキノ カワリ ヤスキジャ ナイ

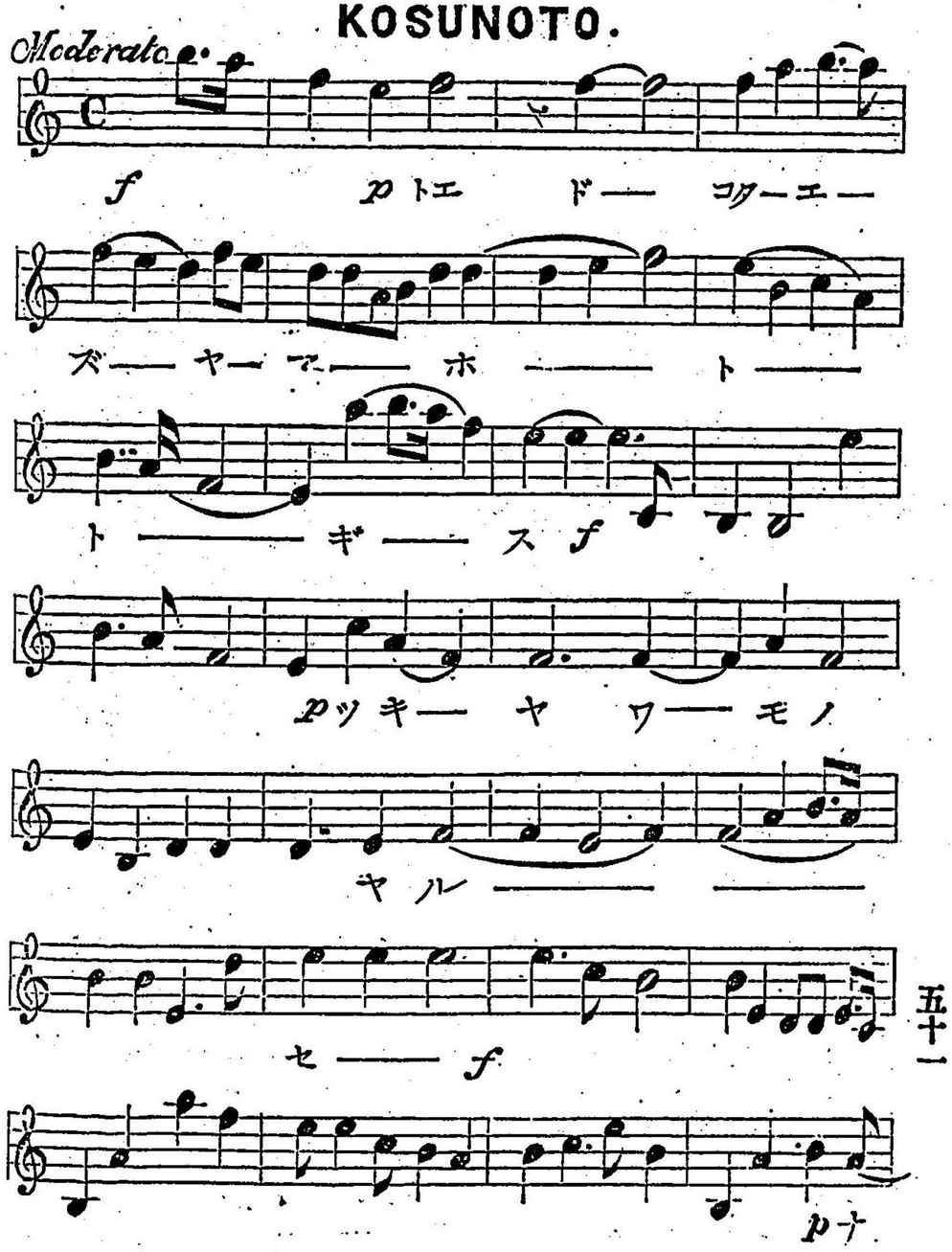
| 7 1 3.1 | 7 – 4 6 | 7.6 77 37 | 7 2 33 73 | 3 0 3 1 |
カイ ナ

| 7 33 13 17 | 46 71 76 43 | 03 07 02 34 | 3 7 7 64 |

| 3 7 3/3 0 ‖

難不難。(こすのこと)

KOSUNOTO.

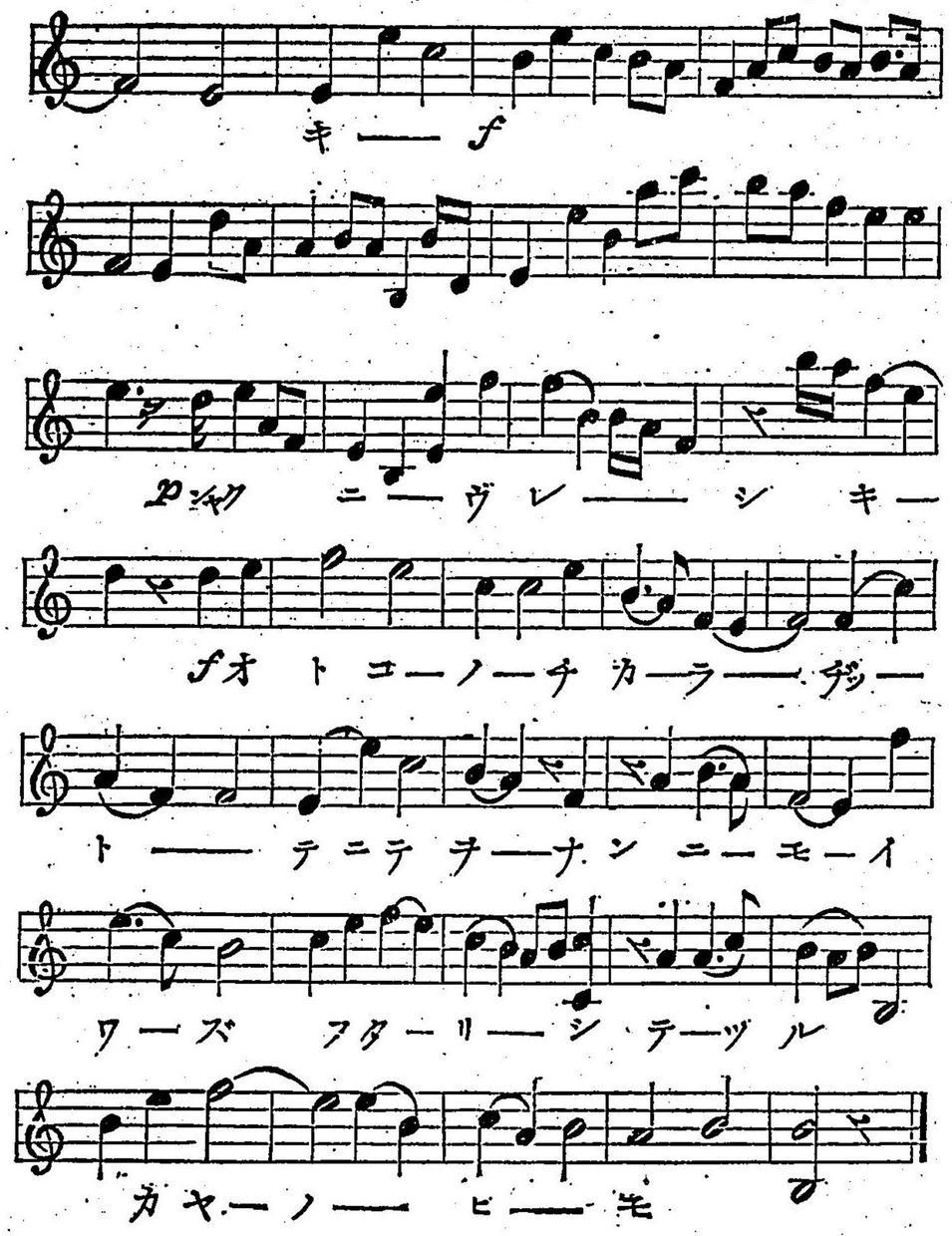


村咲

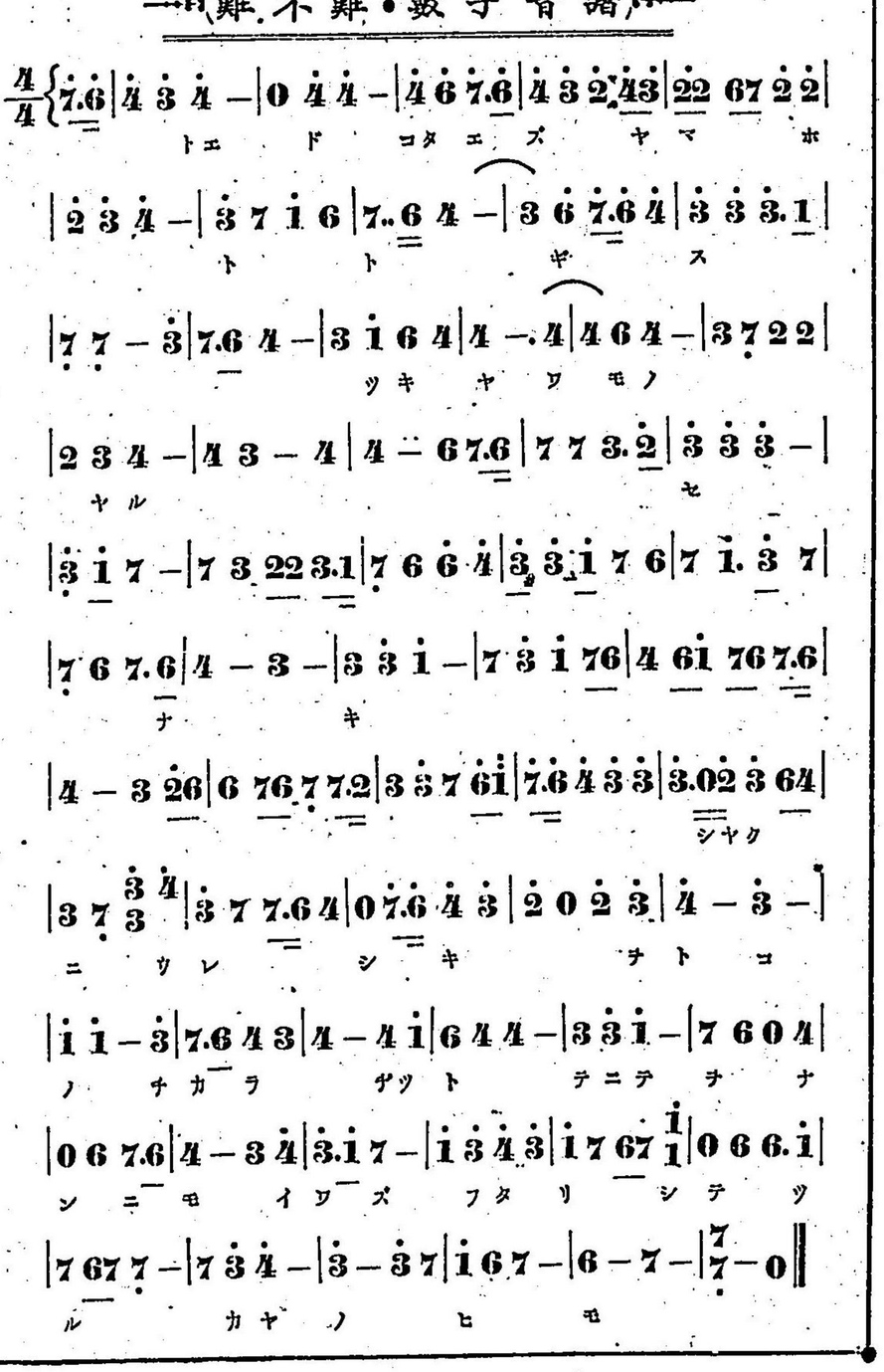
◉露の情に欺されやすき
咲(さ)こうはむ
花(はな)の.えせ
色(いろ)はよけまと
むら.さきの
變(かわ)りやすたしや
あいないいな

雞不難。(こすのと)

KOSUNOTO.



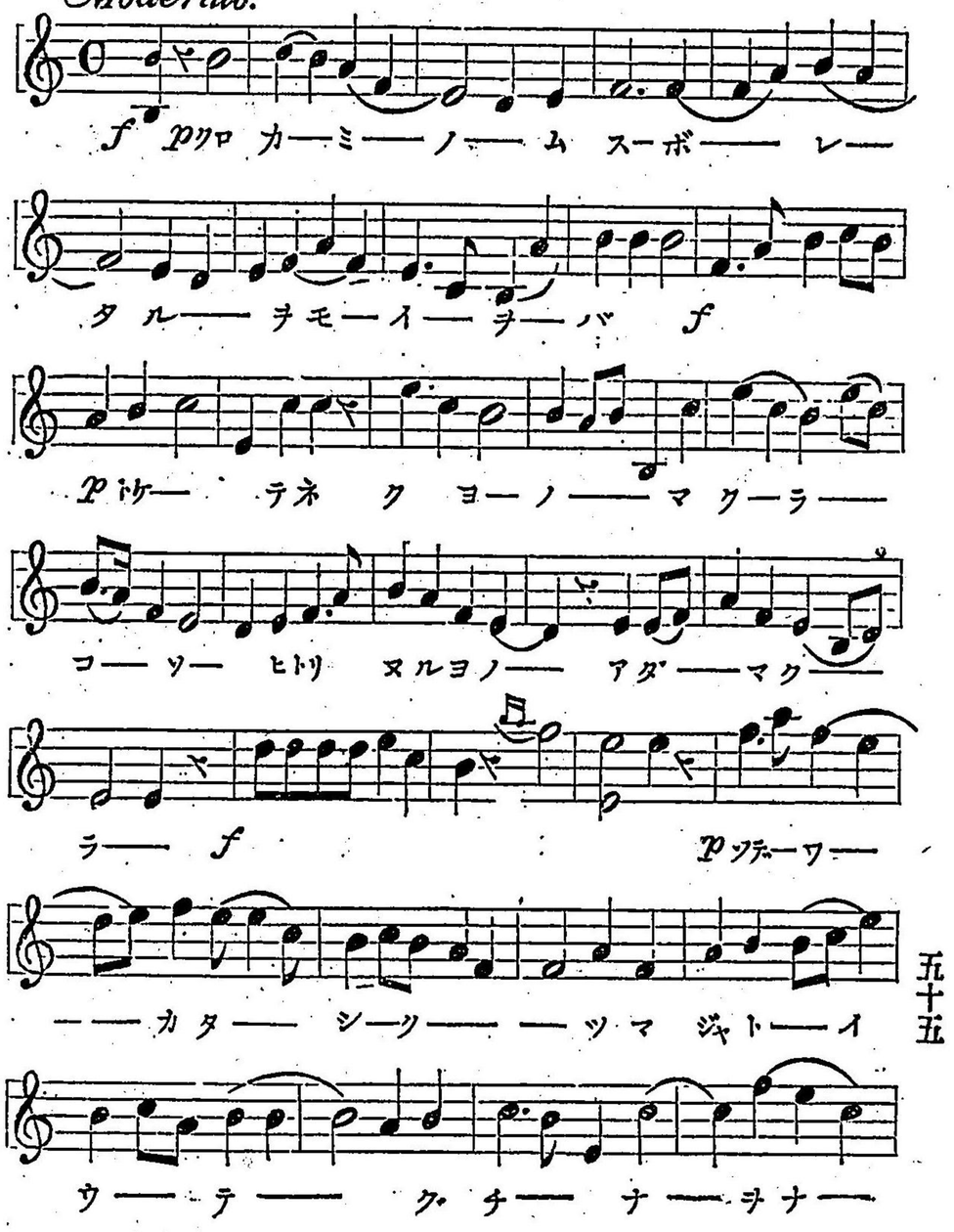
雞不難・數字音譜



黒髪（くろうミ）。一

KURO-KAMI.

Moderato.

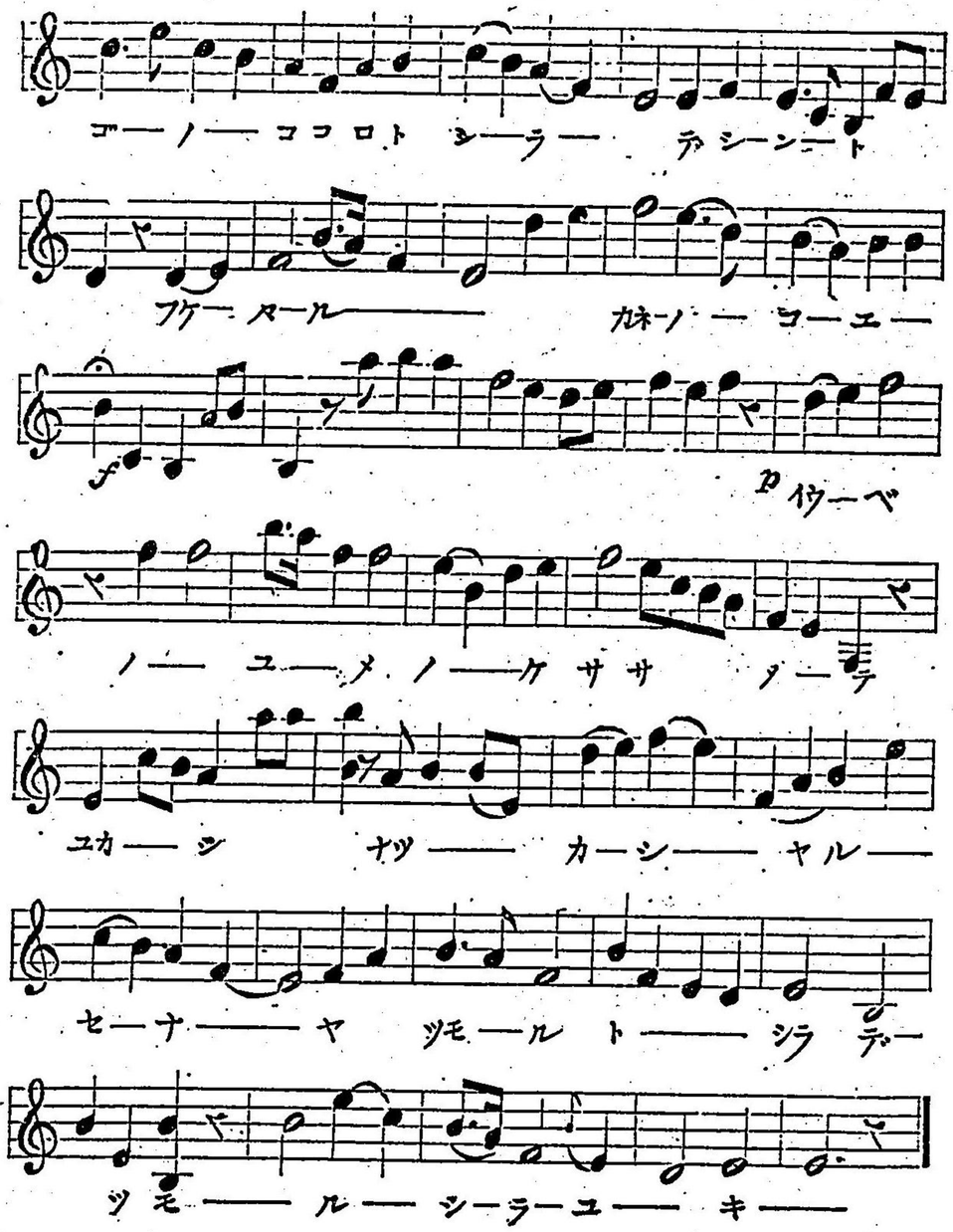


難不難

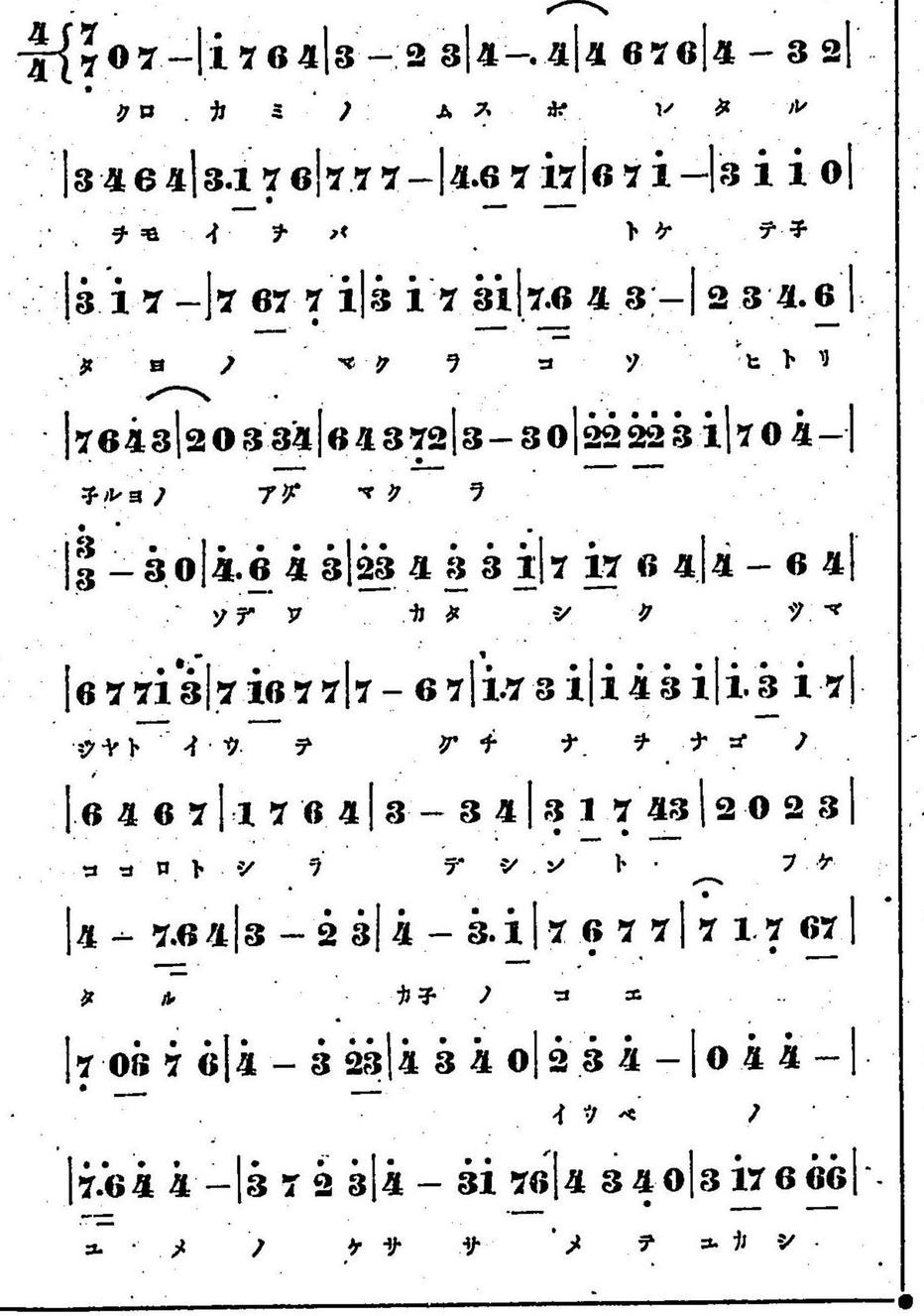
◉問へど答へぬ山ホトヽぎす
月夜はえの、やるせおち
癪に嬉しき男ゆゑ
しつと手に手を何にも云いな
そよぐわの竹窓の風
◉遠くあるほど遣る瀬が無ふて
つくづくこつ血のなみだ
外に包むい男ゆこゝろ
實に手管も何にもしらぬ
告て遣りたい斯としも

黒髪。二
（くろかみ）

KURO-KAMI.

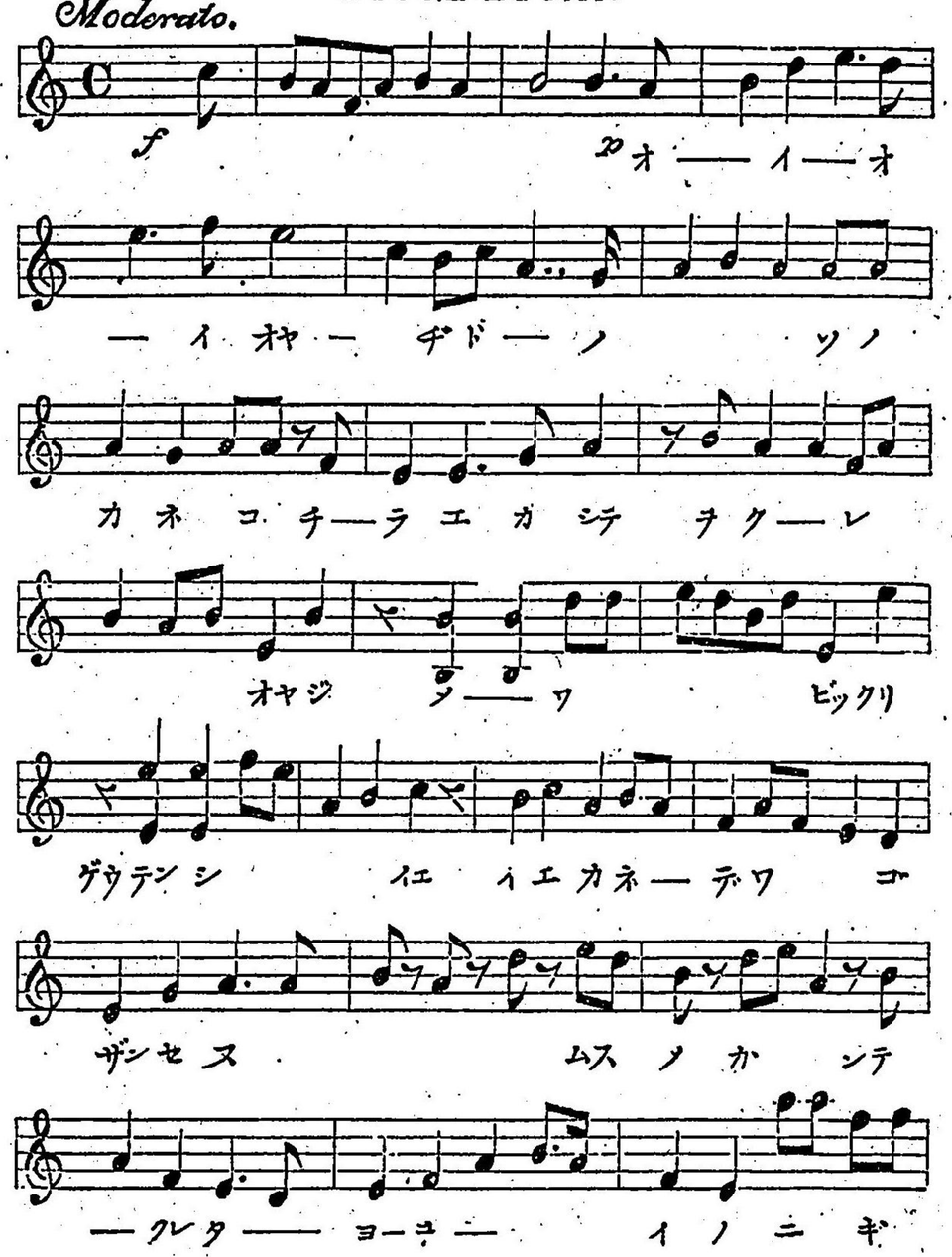


黒髪・数字音譜

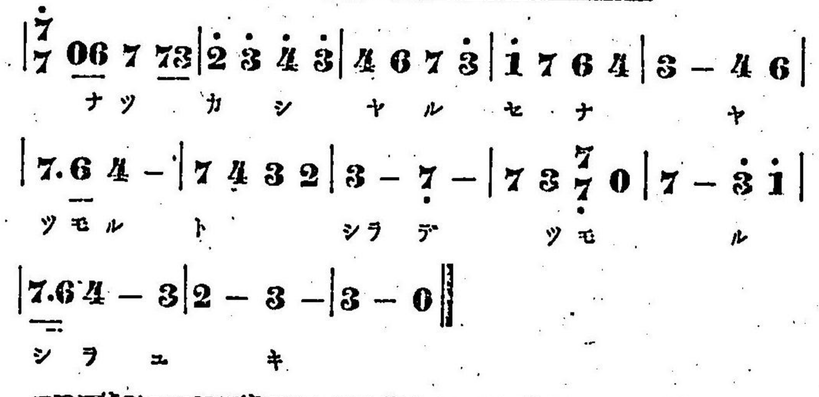


大津繪節。（おほつゑぶし）

ŌTSUE-BUSHI.



黒髪・數字音譜の二



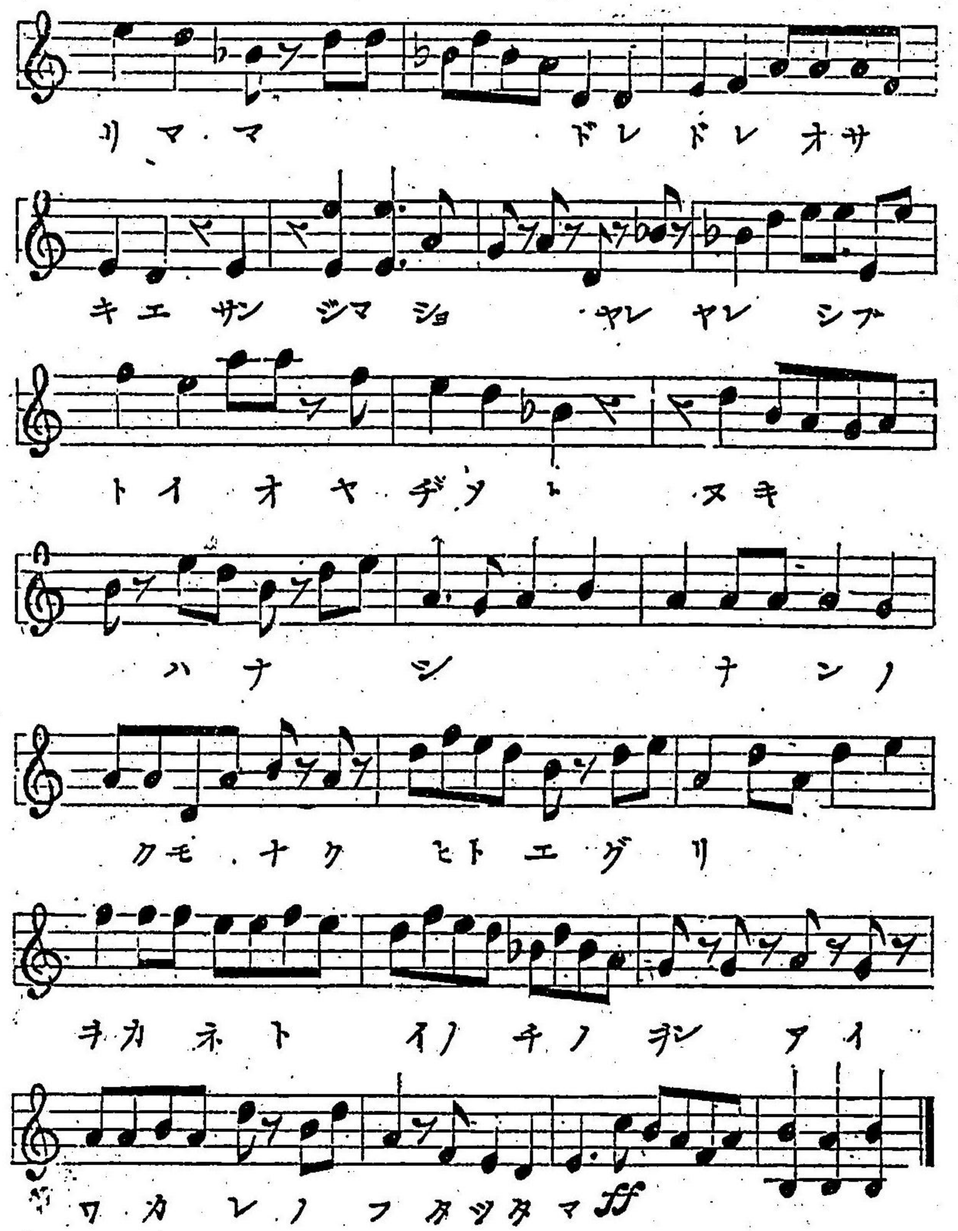
黒髪

◉黒髪の結ばれたる思ひをば
とけてぬたよの枕ころ
獨りぬるよのあさはくら
袖をおとしく妻しやと云ふて
愚知な女の心としらで
しんとふけたる鐘の聲
前夜はおめを今朝をめて
おしあつおしやるせわや
積るとしらで積るしら雪

大津繪節。二

(おつえぶし)

OTSUE-BUSHI.



大津繪節・數字音譜

4/4 { 1 | 76 46 7 6 | 7 – 7.6 | 7 2 3.2 | 3.4 3 – | 1 71 6.– 5 |

チ イ チ イチヤ ヂド ノ

| 6 7 6 66 | 6 5 66 04 | 3 3.5 6 | 07 6 6 46 | 7 67 3 7 |

ソノカチ コ チラエカシテ チク レ 、 チヤ

| 0 7 7 22 | 32 72 3 3 | 0 3 3 43 | 6 7 1 0 | 7 1 6 76 |

ヂ メ ヲ ピクリ ゲウテンシ イエイエカチ

| 4 64 3 2 | 3 5 6.6 | 70 60 20 32 | 70 23 6 07 |

テデ ゴ ザンセヌ ムス メ ガ シテ

| 6 4 3.2 | 3 4 6 7.6 | 4 3 66 44 | 3 2 70 22 | 72 76 2 2 |

クレタヨチ イノニギリママ ドレ

| 3 4 6664 | 3 2 0 3 | 0 3 3. 6 | 30 60 20 70 | 7 2 33 33 |

ドレチサ キエ サン ジマショ ヤレ ヤレ シブ

| 4 3 66 04 | 3 2 7 0 | 0 2 76 56 | 70 32 70 23 |

トイチ ヤ ヂメト ヌキ ハナ

| 6.5 6 7 | 6 66 6 5 | 66 26 70 60 | 24 32 70 23 |

シ ナンノク モ ナ ク ヒト エグ

| 6 26 2 3 | 4 44 33 43 | 24 32 72 76 | 30 50 60 50 |

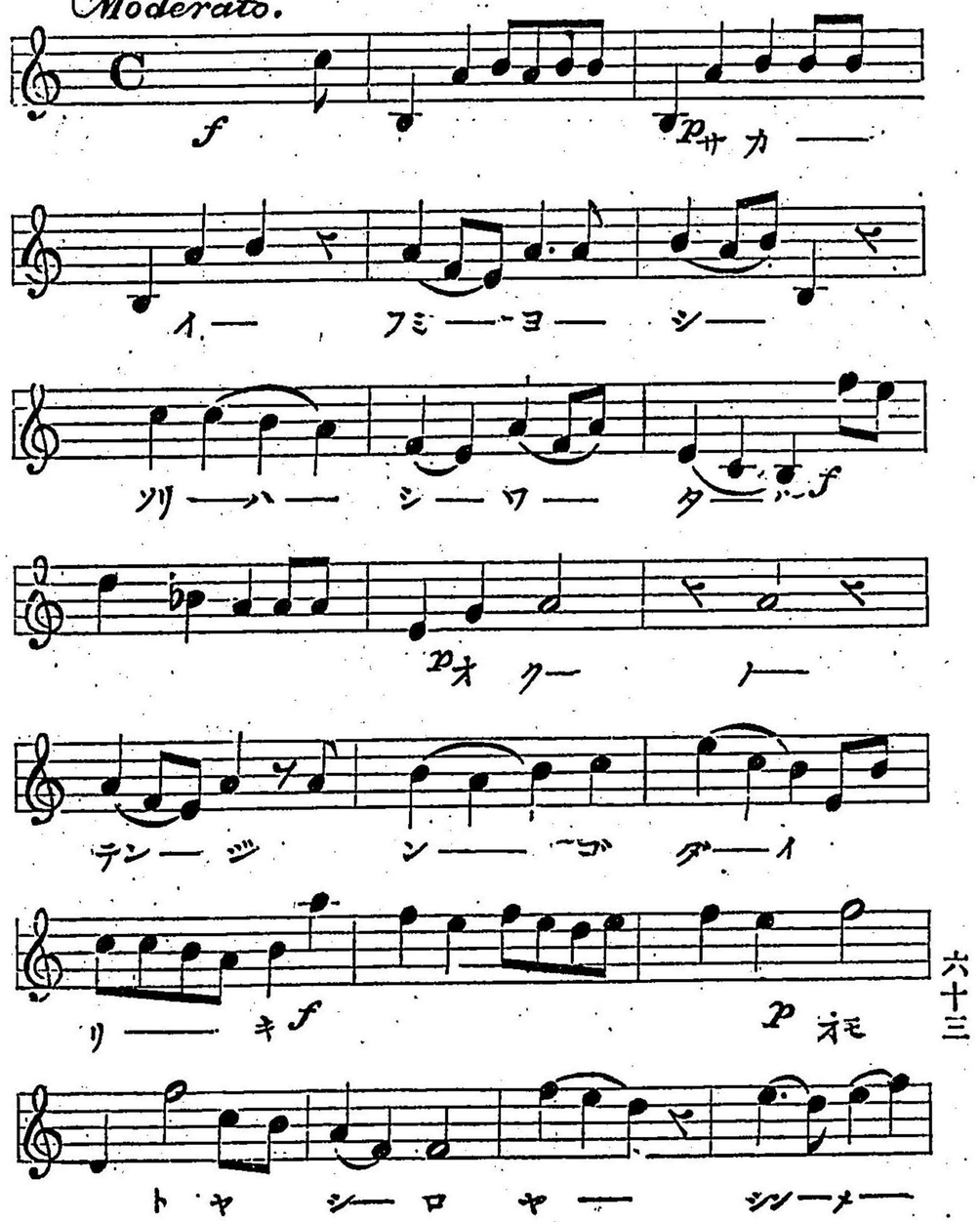
リ チカ チト イノ チノ ヲン アイ

| 66 76 20 72 | 6 04 3 2 | 3.1 76 46 | 7 6 7 / 7 7 7 ‖

ワカレノフタツタマ

慰世節（いよぶし）。一

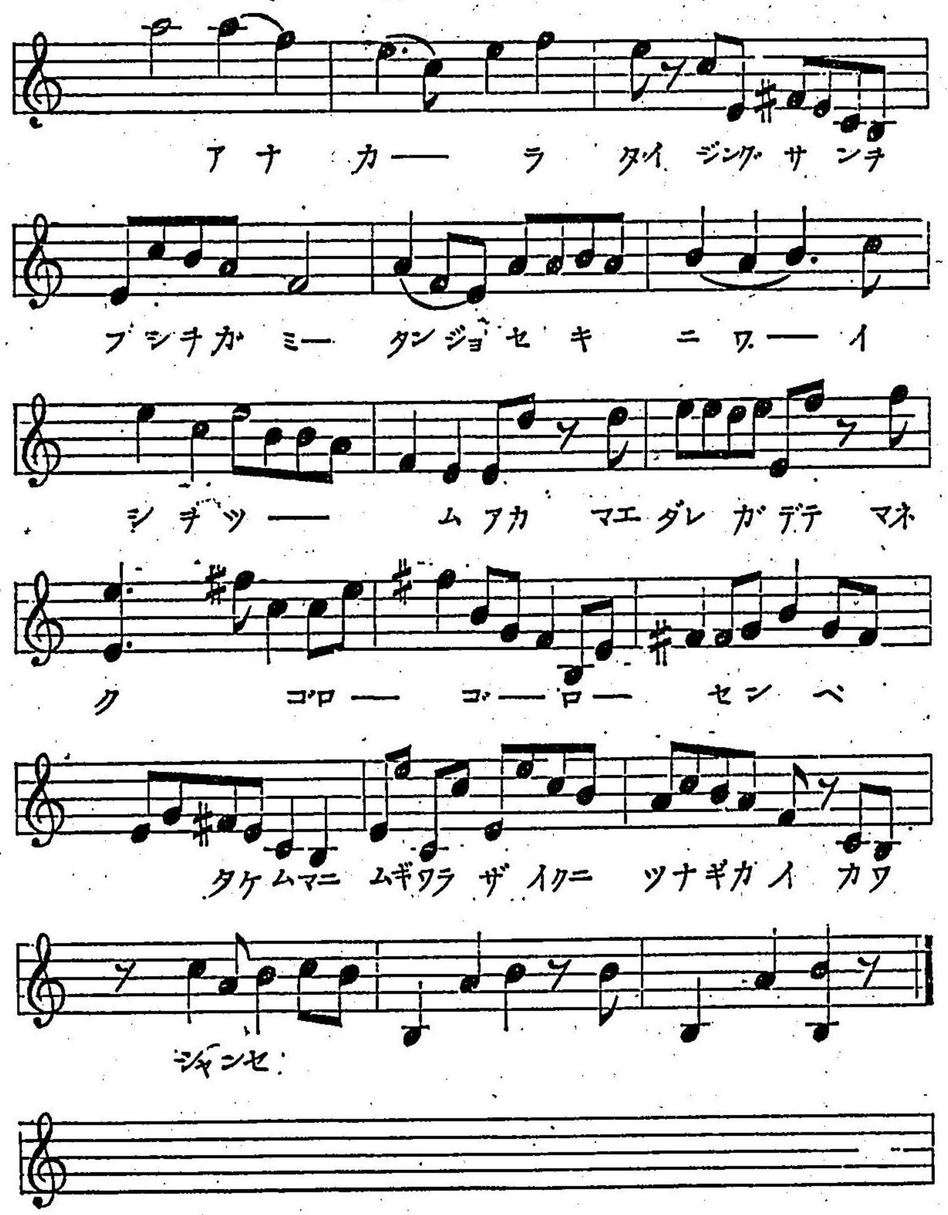
IYO-BUSHI.



大津繪節

◉チホイ〳〵親父（おやじ）ど云（ゆ）ふ其金（そのかね）こっち〳〵貸（か）してくれ
親父（おやじ）めは驚愕仰天（きょうがくぎょうてん）しゐ〳〵金（かね）ではおざんせぬ
娘（むすめ）がこゝれた用意（ようい）の握（にぎ）り飯（めし）
ドレ〳〵お先（さき）へ参（まい）りましやう
ヤレ〳〵しぶとい親父（おやじ）めと抜（ぬ）き離（はな）し
何（なん）ぼ苦（く）もあろ一（ひと）息ぐり
金（かね）と命（いのち）ぢゃおんあいわうれぢゃ二（ふた）つ玉（たま）

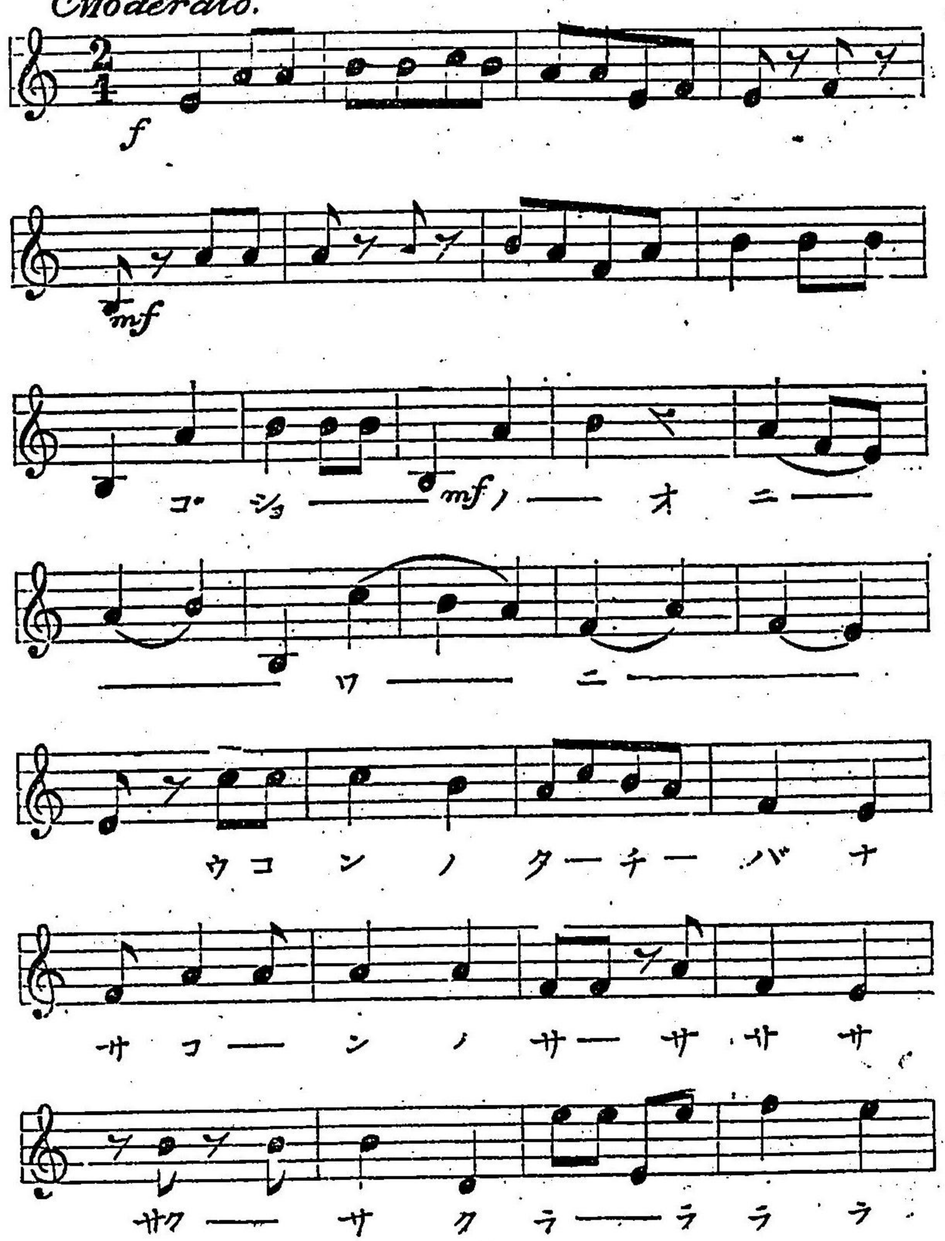
慰世節。ニ
(いよぶし)
IYO-BUSHI.



慰世節●數字音譜

御所之御庭。
（ご所よのおにわ）

GOSHO NO ONIWA.

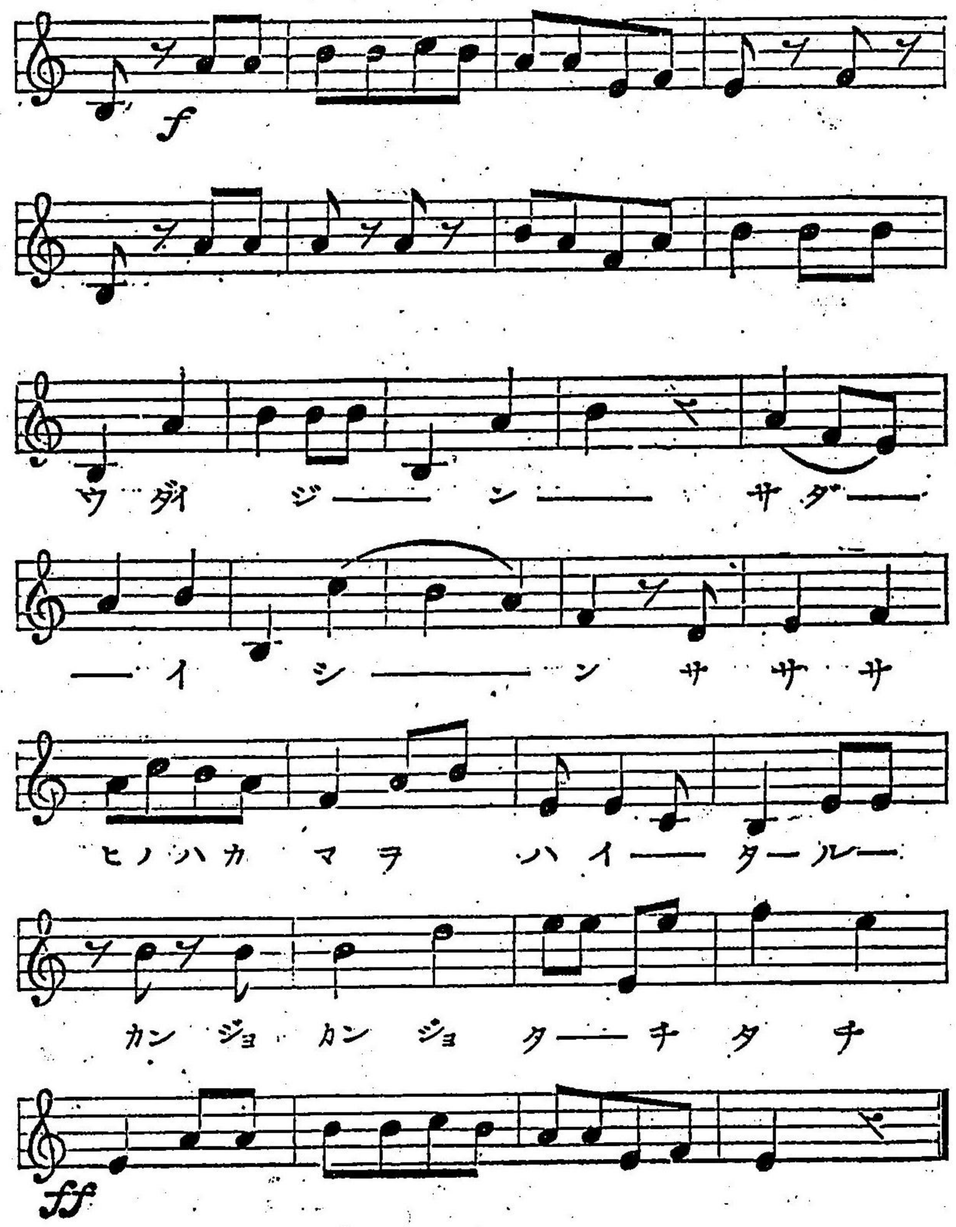


慰世節

◉堺住吉ろ里橋渡る
　奥の天神五大力　拵えと社や
　神明穴から大神宮をんを伏拝み
　たんしよせきには石を積む
赤前垂が出て招ぬく
　ざろくせんべい竹馬に
麥藁細工に繋た貝　買はしやんせ

御所之御庭。二
(ご主よのおにわ)

GOSHO No ONIWA



御所のお庭・數字音譜

2/4 { 3 66 | 77 17 | 66 34 | 30 40 | 70 66 | 60 60 | 76 46 |

| 7 77 | 7 6 | 7 77 | 7 6 | 7 0 | 643 | 67 | 71 | 76 | 46 | 43 |
ゴショ ノ ニワ ニ

| 30 11 | 1 7 | 61 76 | 4 3 | 46 6 | 6 6 | 44 06 | 43 | 07 07 |
ウコン ノ ターチー バナ サコーン ノ サ サ サ サ サ ク

| 7 2 | 33 33 | 4 3 | 70 66 | 77 17 | 66 34 | 30 40 | 70 66 |
サ ク ラー ラ ラ ラ

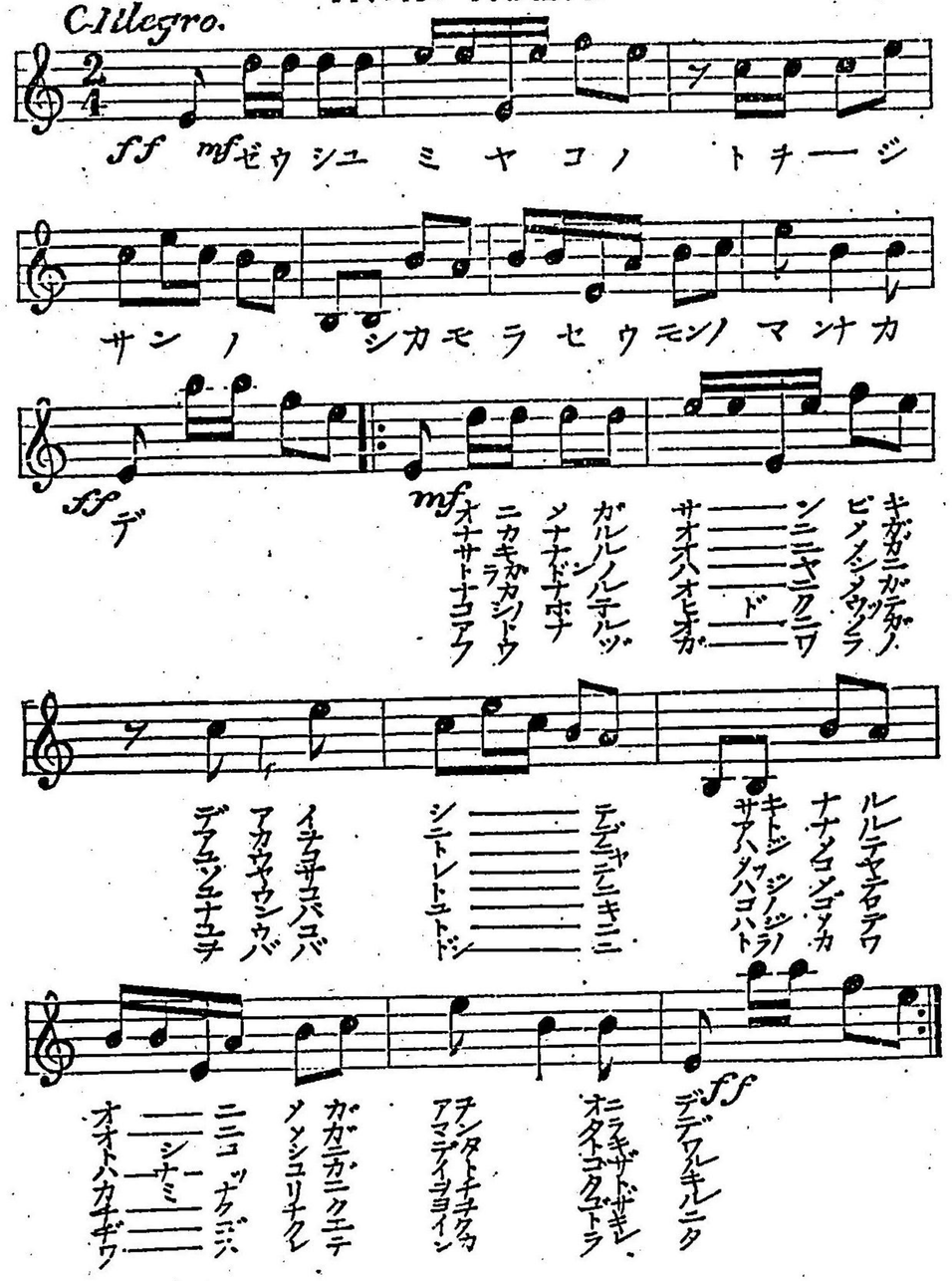
| 60 60 | 76 46 | 7 77 | 7 6 | 7 77 | 7 6 | 7 0 | 643 | 67 |
ウダイジーン サ ダ イ

| 71 | 76 | 402 | 3 4 | 61 76 | 467 | 3 3 1 | 7 33 | 07 07 |
ジ ー ン サ サ サ ヒノ ハカ マチ ハイ ー タ ル カンジョ

| 7 2 | 33 33 | 4 3 | 3 66 | 77 17 | 66 34 | 3 — ‖
カンジョ タ チ タ チ

因州因幡節。
（いんしゅういなば）

INSHU-INABA.



御所之お庭

◉御所のお庭にうこんたちだおあをおんのをサヽヽ
きをゝらゝゝゝたちく　雪はちらく
穿とる官女ゝゝゝ　右大臣左大臣をあを緋ぢ袴
子供はよ袴こぶ　犬めが飛あがる
雪找あつめて　をあを箒でおゝやら
とうじぢらせうえんには　いはらきとうじと
云ふ思がをむとい　渡邊ぢ綱がおふととをあを
引つぬんで　ぬいあがる　太刀ぬきばおして
おいおをつた

因州因幡節

◎城州都の東寺さんの しかも羅将門のまんなかで
鬼めが三匹出逢して 先ある鬼めが青鬼で
中ある鬼めが赤鬼で 後ある鬼めがまんだらで
先ある鬼めが云ふ事にや 始めて節分に出た時ゐや
中ある鬼めが云ふことにや 始めて雷に落ちた時にや
とらがどんの難にそやされて 目つこ鼻つこが痛ござる
腰の骨ひどく打て難波行き 此頃ちく〳〵ようござる
後ある鬼めが云ふことよや 始めて地獄へ行た時にや
ふうづ河原のおばゝどんに 虎のうわ恋れてしかられた

因州因幡節・数字音譜

2/4 | 322 22 | 3333 43 | 011 13 | 131 76 | 77 76 | 7736 71 |
セリ シユ ミヤ コノ トーシ サン ノ シカモラセリ モンノ

| 3 7 7 | 366 43 ‖: 322 22 | 3333 43 | 01 13 | 131 76 |
マンナカ デ チニ メガ サン ピキ デ アイシ ーデ
サキ ナル チニ メガ ユウコト ニヤ

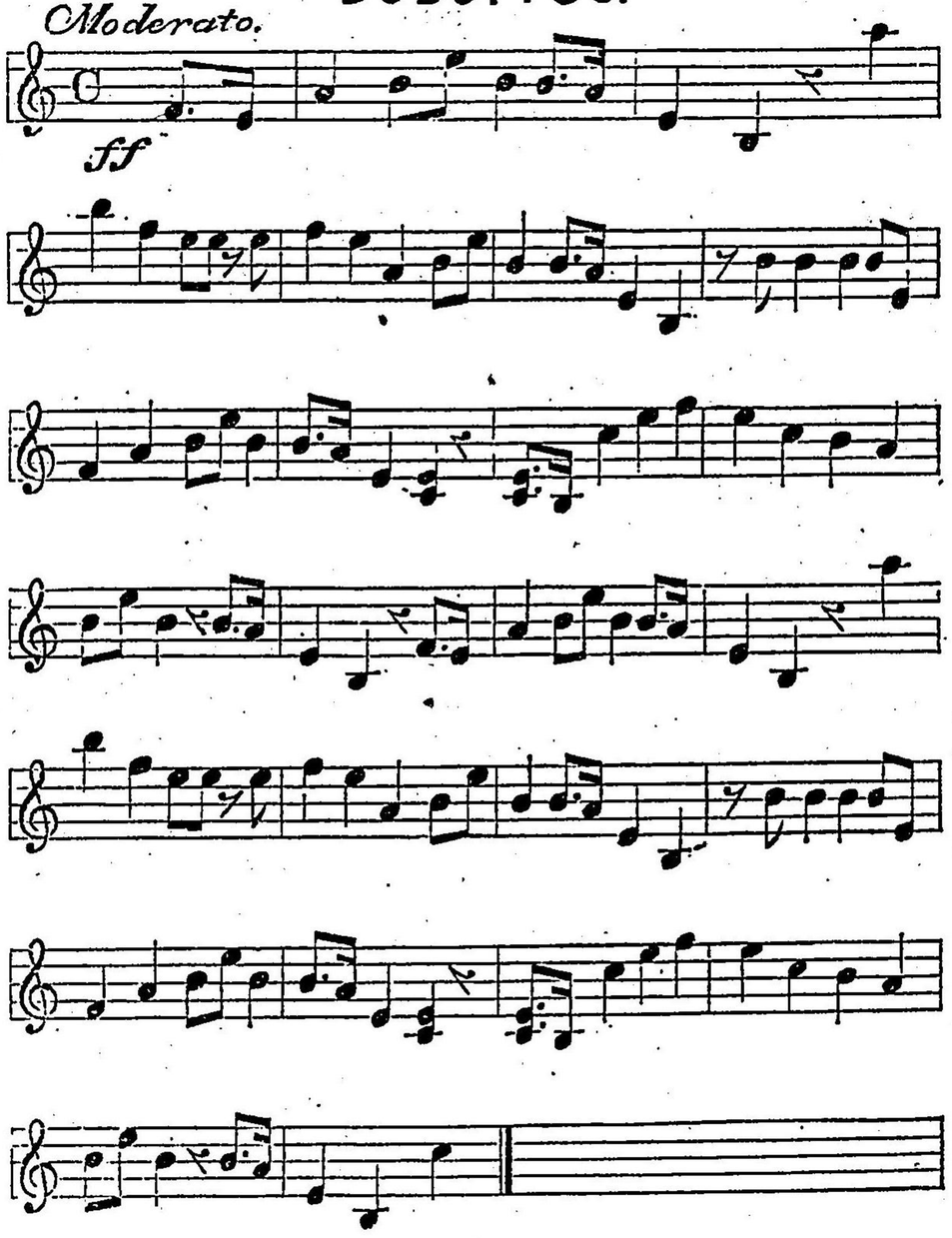
| 77 76 | 7736 71 | 3 7 7 | 366 43 | 322 22 | 3333 43 |
サキナル チニ メガアナ チニデ ナカナル チニ メガ
ハジメテ トシコシニデタ

| 01 13 | 131 76 | 77 76 | 7736 71 | 3 7 7 | 366 43 ‖
ア カ チニ デ アトナル チニ メガ マンナラ デ
トキ ニヤ

都々逸
（どどいつ）
DODOITSU.

Moderato.

ff



都々逸・數字音譜

$\frac{4}{4}$ | 4.3 | 6 7̇3 7 7.6 | 3 7̇ 0 6 | 7 4̇ 3̇3̇ 0̇3̇ | 4̇ 3̇ 6 7̇3 |

| 7 7.6 3 7̇ | 0̇7̇ 7 7 7̇3 | 4 6 7̇3 7 | 7.6 3 $\overset{3}{1}$ 0 |

| $\underline{3.}$ $\underline{1.}$ 7̇ 1̇ 3̇ 4̇ | 3̇ 1̇ 7 6 | 7̇3 7 0 7.6 | 3 7̇ 0 4.3 |

| 6 7̇3 7 7.6 | 3 7̇ 0 6 | 7 4̇ 3̇3̇ 0̇3̇ | 4̇ 3̇ 6 7̇3 |

| 7 7.6 3 7̇ | 0̇7̇ 7 7 7̇3 | 4 6 7̇3 7 | 7.6 3 $\overset{3}{1}$ 0 |

| $\underline{3.7}$ $\underline{1.}$ 1̇ 3̇ 4̇ | 3̇ 1̇ 7 6 | 7̇3 7 0 7.6 | 3 7̇ 0 — ‖

都々逸

◎梅と柳でむすんだおうと
　風がじゃまして遠ざかる

◎夕べ花月のあの宴會は
　たしかいづものひさあはせ

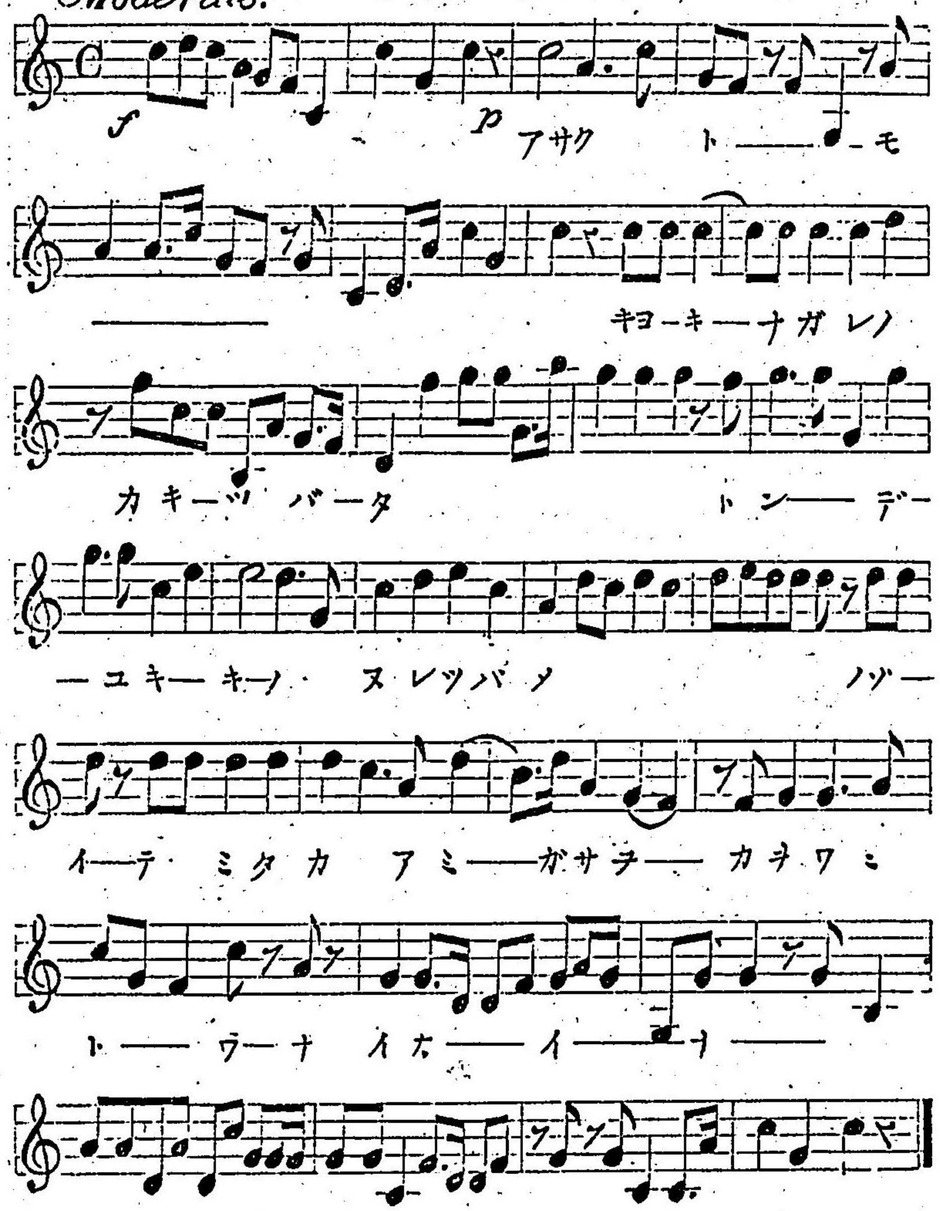
◎月に見とれてつゐ夜とふかし
　そつと身ふしむ秋の風

◎手管とされればまづそれ迄さ
　知らぬにかよつたうちが花

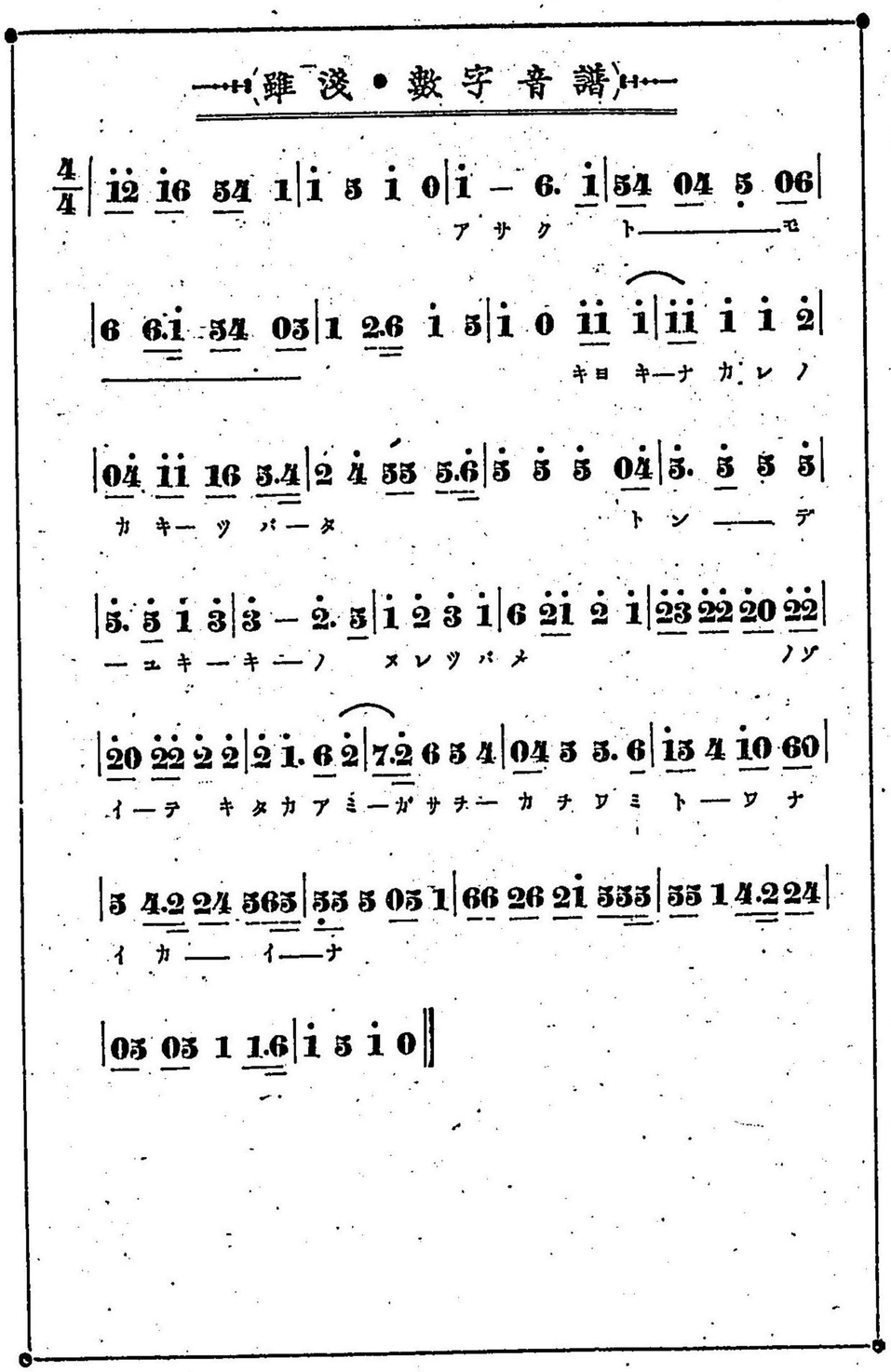
雌淺。
(あさくとも)

ASAKU-TOMO.

Moderato.

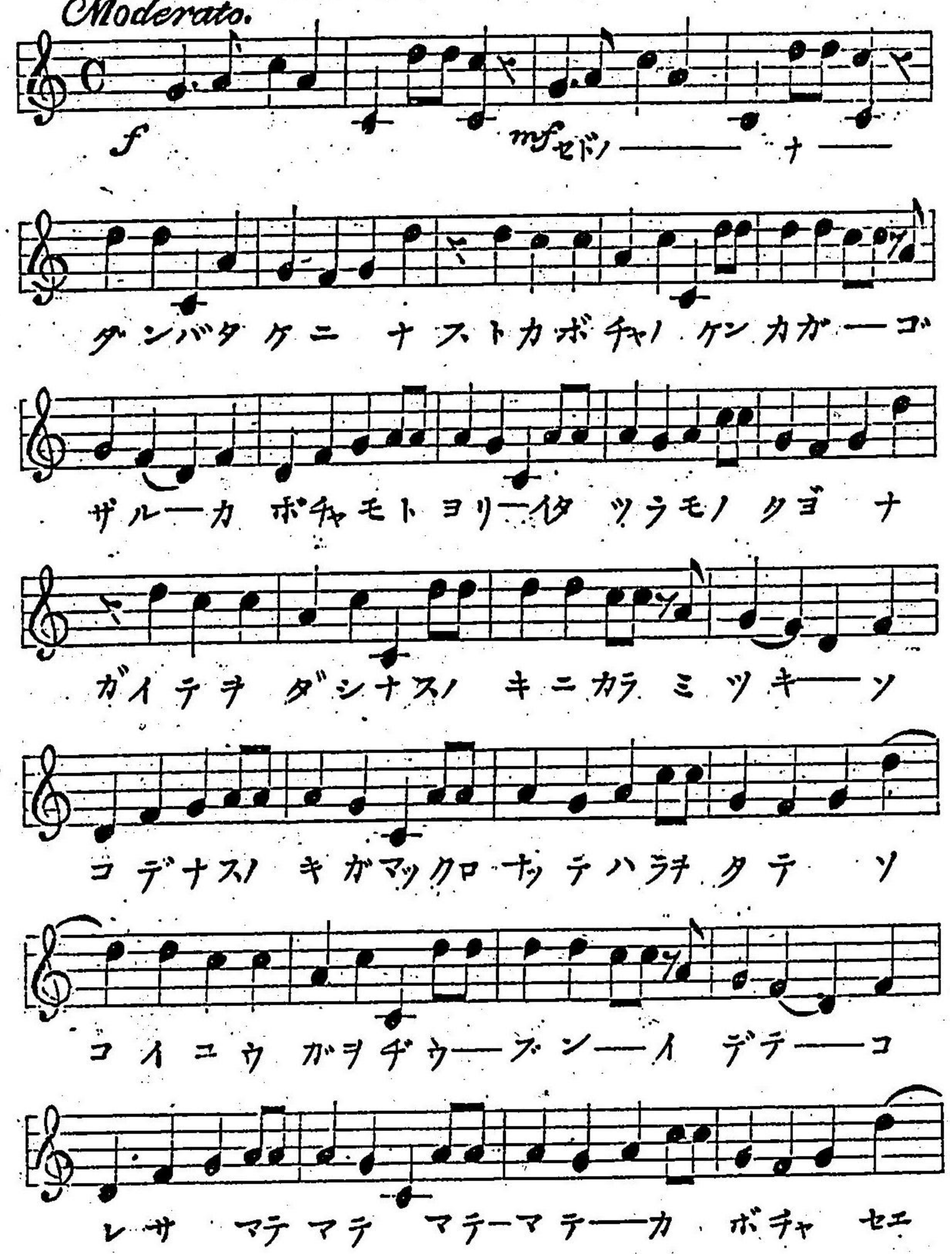


雌淺・數字音譜



背門菜園。一
（せどのだんぢたけ）

SEDO NO DANBATAKE.



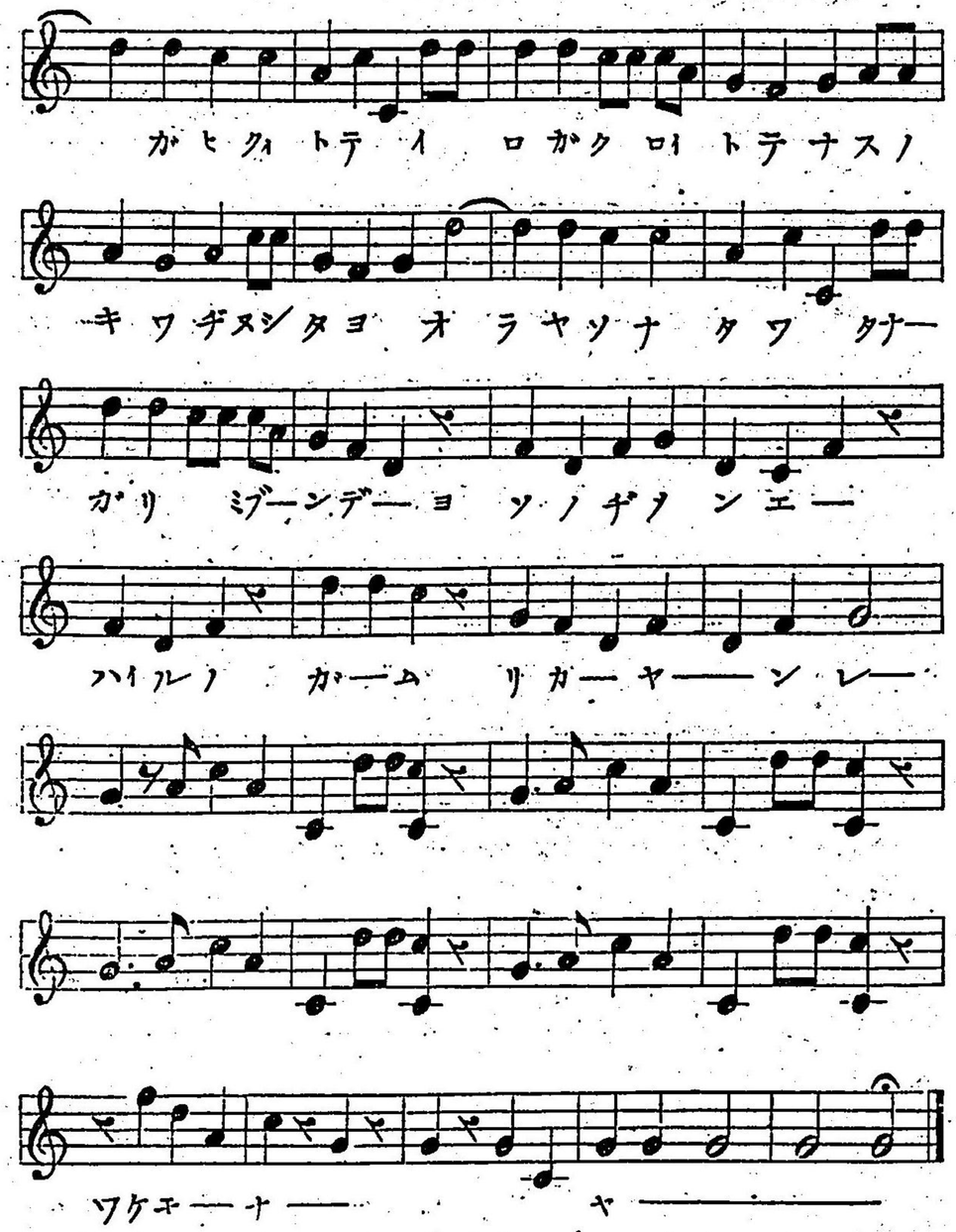
淺くともも

◉清き流れのおきはばた
飛んで往来の濡はばゆ
のぞいて来たお網笠哉
顔は見たふはあいあいあ

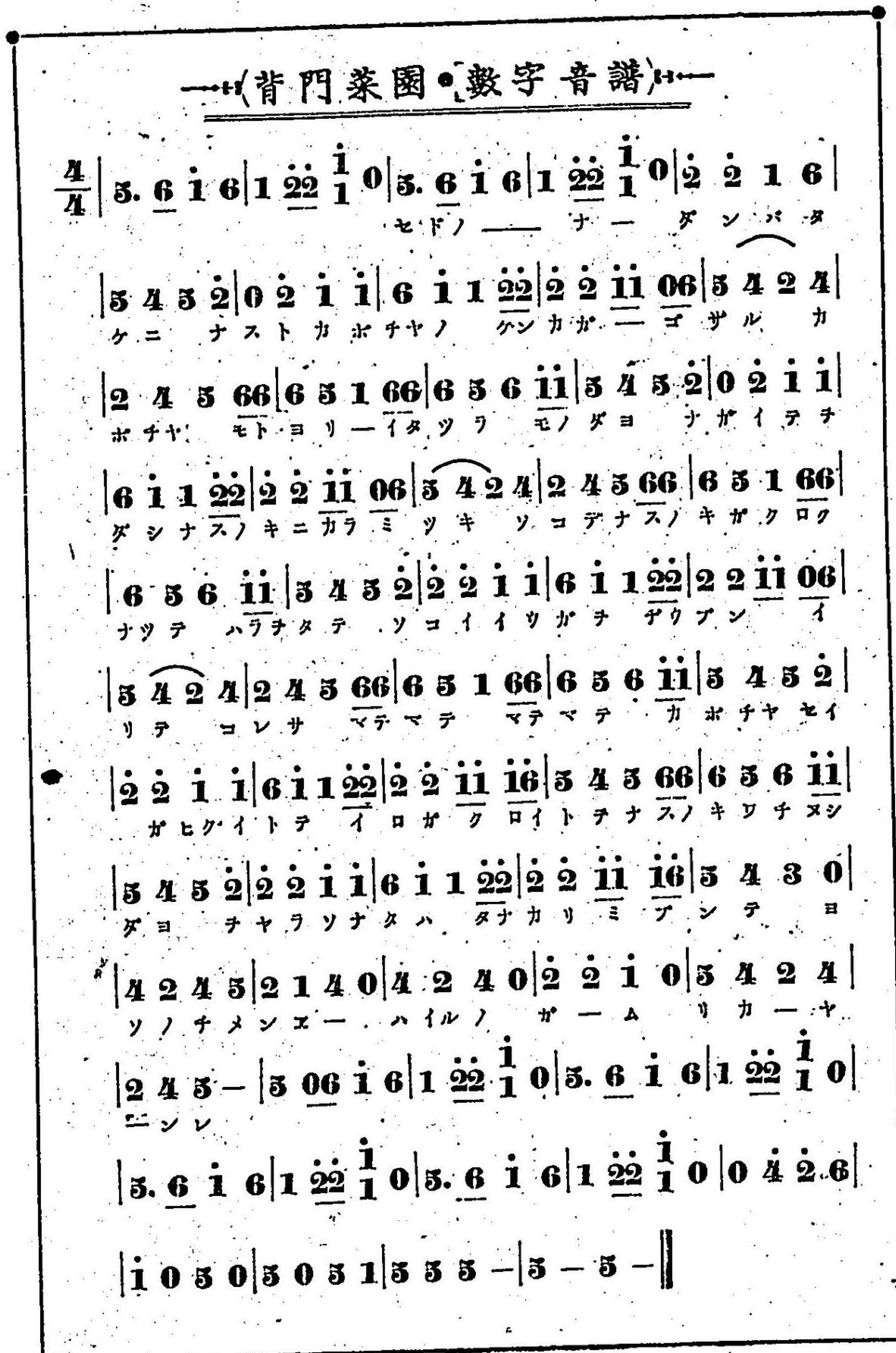
◉晝は草葉の露にふし
夜は野澤に身を哉おがす
可愛おもひの思ひもろまが
さてもおひしき虫てある

背門菜園。ニ
(せどのたんぢたけ)

SEDO No DANBATAKE.



背門菜園・數字音譜



◎背門(うら)弐段畑(にだはた)に茄子(なす)とおかちや弐(に)喧嘩(けんくわ)がござる

おかちや　元(もと)より　いたばらものござよ
長(なが)い手(て)找出(たしだ)し　茄子(なす)の木(き)におらみつき
其處(そこ)で茄子(なす)の木(き)が黒(くろ)くあつて腹(はら)找(たし)た
其處(そこ)へ夕顔(ゆうがほ)十ぶんいまをおれをはく
おかちや背(せい)が低(ひく)いとて色(いろ)が黒(くろ)いとて
茄子(なす)の木(き)は地主(じぬし)ざよとらやろあとは
棚(たな)借(かり)身(み)ぶんで他(よそ)の地(ち)めんへ
はいるがむりぢやんれ

近刊豫告

陸軍軍樂長
永井岩井君撰曲　小島君調曲
●西洋樂譜 **日本俗曲集**
（第二集）

大阪府尋常師範學校
音樂教師　山田源一郎君著
●圖解詳說 **ヴァイオリン指南**
（全一冊）

陸軍一等軍樂手
小島賢八郎君撰曲
●戸外遊戲 **運動歌譜**
（小本一冊）

明治二十四年十二月廿日印刷
明治二十四年同月廿七日出版

定價金六拾錢

著作者　永井岩井
著作者　小島賢八郎
發行者　三木佐助
大阪市東區北久宝寺町四丁目百六番屋敷。
印刷者　辻田榮助
大阪心齋橋筋北久寶寺町角
大阪市東區北久太郎町二丁目六十六番屋敷
大阪活版製造所印刷部
發賣所　三木書店
東京新橋竹川町十三番地
發賣所　共益商社

保險附學校用堅固風琴

皇國多數ノ風琴出品中第一等ノ賞ヲ得タリ

山葉風琴

第三回內國勸業博覽會
有功賞牌拜授

山葉製造風琴ノ精良確實ナルヲハ江湖諸大家ノ證明多シ今東京音樂學校ノ證明書一例ヲ左ニ揭グ

去明治廿二年五月本校ヘ納附相成候風琴壹張其後段々試用候處于今毫モ音律ニ狂ヒヲ生セズ器械之破損等モ無之玉樋學校用ニ適當ノ良品ト思考致候風琴製造ノ創業日尚淺キニ拘ラズ從來之勉強ニ依リ此ニ至リ候段感佩之至リニ云々（以下略ス）

明治廿四年十一月五日

東京音樂學校長
理學博士 村岡範爲馳印

山葉樂器製造所殿

風琴實價表

第一號形	金拾八圓	
第二號形	金弐拾五圓	
第新三號形	金三拾八圓	
第四號形	金四拾五圓	
第新五號形	金五拾五圓	
第五號形	金七拾圓	
第六號形	金百圓	
第七號形	金百五拾圓	

雛形代價附詳細表御入用ノ諸君御申越シ次第御送呈可仕候

關西大賣捌所
大阪心齋橋通北久寶寺町角
三木佐助書店

三木書店樂器部廣告

ACCORDEON,
OR
HAND-ORGANS.

來舶 手風琴
大小各種
構造堅固音調優美ノ品
代價表（但シ實價）

○貳圓三拾錢○四　圓
○貳圓五拾錢○四圓五拾錢
○貳圓八拾錢○五　圓
○參　圓○五圓五拾錢
○參圓五拾錢○六圓五拾錢

小店ニテ販賣仕候樂器ハ海外ヨリ荷着ノ際一々音樂教師諸大家ニ音調ノ良否ノ撿定ヲ乞フテ輸入仕候品ニ付其音調ノ正確構造堅固ナル品ヲ發賣仕候間四方ノ諸彥御信用ノ上御購求可被下候

NEW IMPORTED ORGANS
IN GREAT VARIETY.

舶來（オルガン）風琴
各種新着

弊店兼テ海外ヘ注文致置候今回澤山各種荷着仕候ニ付精良確實ナル品ヲ撰ビ非常廉價ヲ以テ高需ニ應シ可申候間倍舊御購求アラシヿヲ附言

今回到着ノ風琴ハ無用ノ形容飾ヲ捨テ專ラ音調、器械、構造等ニ入念有之候品ニ付學校用ニハ至極適當ノ風琴ニ御座候

雛形代價附入用ノ諸君ハ御申越シ次第直ニ送呈可仕候

舶來（セレス）紙腔琴（チーナ）大小各種（ハトロ）（ハーム）各種

小學唱歌掛圖　全三級　定價四圓拾錢

○歐米各國諸大家作曲音樂書類各種新着

三木書店樂器部廣告

第三回内國勸業博覽會 有功賞牌

VIOLINS ヴァイオリン

名古屋鈴木政吉氏ノ製造(ヴァイオリン)ハ其構造ハ完全音調ハ頗ル優美且其塗色ノ美麗ナル「賞ニ輸來品ニモ劣ラサル製造ニテ曩ニ東京音樂學校教師澳國音學博士オットリヒ先生ノ御試彈ヲ受ケタルニ大ニ好結果ヲ得又第三回内國勸業博覽會ニ出品シ有功賞牌ヲ拝授シテ和製中全國ニ冠タルノ名聲ヲ博シタル結果確實廉價ナル品ニシテ當時海外ヘモ輸出スル運ニ至レリ因テ今回開四大賣捌ノ特約ヲ結ヒ内外需用家諸彦ノ便益ヲ備ヘ可申候間陸續御購求アランコヲ

附言　舶來品モ各種到着仕候間御高需ニ應シ可申候（代價ハ凡ソ拾五圓ヨリ五拾圓位マデ各種）

大阪府尋常師範學校音樂教師 山田源一郎君著 圖解詳說ヴァイオリン指南全一冊

代價表

（弓）附

第壹號品（弓附）金五圓
第貳號品（弓附）金五圓五拾錢
第三號品（弓附）金六圓五拾錢
第四號品（弓附）金七圓五拾錢
第五號品（弓附）金八圓五拾錢
第六號品（弓附）金拾圓五拾錢
第七號品（弓附）金拾壹圓五拾錢

音樂ノ風教ニ効アルコト今更喋々ヲ俟タズシテ明ナリ故ニ我國普通教育中ニモ此一科ヲ加ヘ以テ兒童ノ德性ヲ涵養シテ又世ノ風俗ヲ改良セントス而シテ其使用スル樂器ハ風琴（オルガン）ヲ最モ適當ナリト雖モ此樂器ハ價費クノミナラズ其位置ニシテ實ニ輕便之ニ過クルモノナカラン北清造ノ優美ニシテ音聲ノ雅正ナル益シ他ノ樂器ノ遠ク及バザルトコロナリ宜ナリ之ヲ樂器中ノ帝王ト稱スルヤ今若シ學校ニ於テ之ヲ用ヒ給ハヾ唯一室ノ外唱歌ヲ教授スル能ハサルノ不便ナク或ハ運動場ニ提テ生徒ノ遊戲ヲ補クルノ利アルベク又之ヲ携ヘ歸リ土曜日ノ夕ヨリ日曜日ノ朝ニ勉學ノ勢ヲ慰ムルノ益アラン

ヴァイオリン附 代價表

第壹號品（弓附）金壹圓貳拾錢
第貳號品（弓附）金壹圓三拾五錢
第三號品（弓附）金壹圓五拾錢
第四號品（弓附）金壹圓六拾五錢
第五號品（弓附）金壹圓七拾五錢
第六號品（弓附）金貳圓
第七號品（弓附）金貳圓五拾錢

●小形ヴァイヲリン
●獨習用音階附ヴァイヲリン
右新形模造仕候

●ヴァイヲリン箱
代價金壹圓五拾錢

●調子笛
代價金五拾錢

其他附屬品和洋各種有之候